令和３年度

事　業　計　画

社会福祉法人みちのく福祉会

目　次

はじめに　・・・・・　1
令和３年度　経営方針　・・・・・　2－8
Ⅰ．法人概要　・・・・・　10
Ⅱ．事業領域　・・・・・　10
・障害部門≪成人≫　・・・・・　11
≪児童≫・≪相談≫　・・・・・　12

・保育部門　・・・・・　13
・職員配置　・・・・・　14-15
・障害･保育利用者状況　・・・・・　16
Ⅲ．品質マネジメント　・・・・・　17
令和３年度　重点目標　・・・・・　17
1．サービス品質の向上　・・・・・　18
1-a 記録の重要性と保護者との関わり　・・・・・　18
1-b 品質目標の達成　・・・・・　18
1-c リスクマネジメント　・・・・・　19-22
2．選ばれる職場になる取り組み　・・・・・　23-27
3．医療機関との連携　・・・・・　28
4．SDGs の推進及び既存の取り組みの強化　・・・・・　28
Ⅵ．品質マネジメントの評価　・・・・・　28

〈障害部門〉
・障害者支援施設 陽幸園　・・・・・　30－33
・障害者支援施設 しもきた療育園　・・・・・　34－37
・生活介護事業所 すまいる　・・・・・　38－41
・障害福祉サービス事業所 工房「歩み」　・・・・・　42－46
・障害児入所施設 はまゆり学園　・・・・・　47－51
・放課後等ディサービス　キッズすまいる　・・・・・　52－55
・多機能型事業所 ちゅうりっぷ　・・・・・　56－59
・こども発達支援センター りりぃ　・・・・・　60－63
・相談支援事業所 ぱれっと　・・・・・　64－65
・グループホーム 陽まわり荘　・・・・・　66－67
〈保育部門〉
・白百合保育園　・・・・・　70－73
・第二白百合保育園　・・・・・　74－77
・小規模保育事業所 ナーサリーしらゆり　・・・・・　78－81
・風間浦村指定管理 風間浦保育所　・・・・・　82－85

はじめに

令和３年度を迎えるにあたり、役員の皆様には「新型コロナウィルス禍」の中、的確なご指導ご助言、ご協力を賜りましたこと衷心より御礼申し上げます。
この「新型コロナウィルス」は、「社会の分断を誘う」「人との触れ合いを遮断する」力を持っていました。
全世界が、これまでに経験のない状況に陥り、右往左往しました。

社会福祉法人は、２０００年あたりから「縮小する経済状況の中、経営の透明性と自主性が求められ、準市場化において効率化すること」を求められてきました。事実、福祉の専門書には「株式会社の経営で使われる用語」が散乱し「施設をマネジメントする」ことが求められ、それに従い当法人でも経営の指針にしてきました。
しかし、組織や規則・方針が示されたとしてもその達成感は、私の個人的な感じ方になりますが十分なものではなかったと感じます。そこで令和２年の干支が「庚子」ということもあり「大きく、整理整頓する」と方針を定め、経営上「取捨選択」が必要なものは断行し「地域に求められる法人」として仕切りなおそうと考えていました。

そのような中「新型コロナウィルスの世界的蔓延」が発生しました。顔が見えないマスク姿、ソーシャルディスタンスという空間的距離、感染者へ対する誹謗中傷、往来の禁止、イベント・祭りの中止決定など、世界が灰色に感じることになります。どうにもならない「大きな力」で「これまでとこれから」を区分けした感染症禍は否が応でも社会を「整理整頓」させました。

社会福祉法人は地域の福祉を担っています。福祉の担い手として、そこで働くものとして「原点」からやり直そうと考えています。
福祉ってどんな仕事で、どんな想いで、何を目指すのか。寄り添い、共にあり続けることとは、どういうことか。
「理念・使命・ビジョン」のおさらいから始めます。２月から各職域・階層ごとに方針説明会を行っています。

コロナ後の世界は大きく変わろうとしています。そのような中で「不変の想い」を地域に誓い、法人経営に全員であたりたいと思います。

令和３年度　経営方針

理念・使命・ビジョンの共有（ヒト）

職域・階層の責任共有（モノ　組織）

経営数字の把握・管理（カネ）

『コミュニケーション・ディスカッション』

コミュニケーション

言語・非言語（言葉・表情・行動）をもって、意思疎通を図ること。伝えるではなく、分かり合うこと。

ディスカッション

自由に、尊敬の念をもって議論し、答えをすり合わせていくこと。A＋BがC、CをDにするには？

社会福祉法人　みちのく福祉会

〔理念　使命　ビジョン〕

我々の理念とは何か？

（理念とは　我々が社会に対してどのような考え方であるかを表したもの）

寄り添い、共にあり続けること

我々の使命は何か？

（使命とは　我々が社会で実現したいことを表したもの）

すべての人たちが、地域社会においてキラキラと輝くような生活を

送ることができるようにすること

我々のビジョンは何か？

（ビジョンとは　我々の使命が果たされたときの姿・形を表したもの）

その半島、やさしさ繋がり生い茂る

（大学生のインターンシップを受け入れた時に、福祉に代わるコトバは？のお題に出された答え。「やさしさ」が繋がり自生する地域作りが福祉）

■理念

我々が、社会に対してどのような考え方であるかを表したもの
イコール　＝
我々が、社会と交わす「約束事」と考えよ。

寄り添い、共にあり続けること

寄り添うとは、
「気づき」　その方のちょっとした変化に気づくこと。　日頃からの目配り気配り、感度の良いアンテナが必要。
「受容」　価値観などは多様である。多様性をもってまずは受け入れてみること。自身の引き出しが多くなければ可能にはならぬ。
「共感」　自らの事と感じること。　想像力が必要、心のやり取りをすること。

共にあり続けるとは、
「継続」　精神面・・・決して裏切ることをしない
事業面・・・経営数字に責任を持つこと
「歩幅」　これまでと、いまと、これからと。歩調を合わすこと、先を歩くこと、しんがりを務めること。

社会と交わすこの「約束事」は、外にも内にも当てはまることを確認すること。
（地域、利用される方にとってもだが、法人内職員間においてもこの理念は当てはまるということ）

■使命

我々が社会において実現したいこと
これをもって我々は日々、社会福祉法人みちのく福祉会の職務に従事している。

すべての人たちが、地域社会においてキラキラと輝くような生活を送ることができるようにすること

キラキラと輝くとは
「幸せ」の尺度、考え方は人それぞれで違います。それこそ多様性でしょう。
キラキラと輝くと表現したのは、対象をすべての人たちとしたからです。
「幸せ」の尺度を、お金と考える人もいるかもしれません。しかし社会福祉法人は誰かにお金を上げることはできません。
そこで考えました。お金や地位、財産、健康など他人と比較することで得られる幸福度は客観的幸福度といえるのかもしれません。
この比較して得られる客観的幸福度は、比較対象によって上振れも下振れもします。
重要なのは「主観的幸福度」かもしれません。何かと比較することではなくて、自身の存在を喜んでもらえるとか、生まれてきてよかったと思えるとか、誰かと喜びを分かち合うとか、笑顔が絶えなく、その時々で誰もが人生の主人公として、共演者として、光が当てられるような世界の実現こそが、社会福祉法人の最終的使命と考えます。
地域社会において、光が当たらず、暗がりに置き去りにされるような人を出してしまっては、絶対いけないと考えます。
これまでは、もしかしたら比較して客観的幸福度の尺度で、足りないことを補完するのが「福祉」の役割だったかもしれません。
しかし、これからは補完する福祉ではなく、共にキラキラと輝けるような地域を共に作っていくことが福祉法人の使命と考えます。

■ビジョン

その半島、やさしさ繋がり生い茂る

我々の使命が果たされたとき、実現したときに「地域」はどうなっていてほしいか？
福祉はこれまで、足りない何かを補完する役割だったかもしれない。
しかし、時は流れ、時代は変わり「多様性の時代」になっている。
これまでの「常識」が書き換わり、新しい価値観によって人々は生活していくということでもある。
これからの福祉は「何かと比べて足りないものを補完する」ことではない。
「寄り添い、共にあり続けること」で共感する仲間を増やし、「繋がる」ことで力を合わせていき「やさしさ」は地域に根付いていく。
我々の行動は「地域づくり」につながっていて、時代や歴史の１ページになっていく。

■経営数字の把握・管理

目標とする事業活動収支差額

法人本部	－32,000,000
陽幸園	22,000,000
すまいる	6,300,000
キッズすまいる	2,300,000
しもきた療育園	44,000,000
ぱれっと	4,100,000
工房歩み	7,150,000
陽まわり荘	3,000,000
白百合保育園	16.000,000
小川町第二白百合	18,500,000
風間浦保育所	－650,000
ちゅうりっぷ	－4,100,000
はまゆり学園	－8,200,000
ナーサリーしらゆり	1,100,000
センターりりぃ	10,500,000
合計	90,000,000

収入・支出の管理/把握に努め、上記の収益差額を達成すること。

■職域・階層の責任共有

組織の有機的機能の発揮・スピードアップを目的にしている

職域・階層の責任とは

職域分化は、職域専門性が担保され、分担することで効率性や効果性を高めること。

階層分化は、責任と権限を明確にし、階層ごとに応分の責任と権限が渡され、果たされること。

あいまいなラインを明確にすること。

＝　施設経営上、法人経営上の課題に上がるものすべてに当てはめていくことで、経営の質の向上を図ること。

最後に

「自覚者が責任者」であるということを、忘れずに動くこと。
何のために？なぜ？　どのようにしたら更にうまくいくか？など、自ら考え、日々答えを出していくこと。
自身のベストを尽くしているか？比較対象は過去の自分であること。昨日より今日、今日より明日。

Ⅰ．法人概要

事業内容	・第一種・第二種福祉事業（障害・保育）
設　　立	昭和 54（１９７９）年３月
事 業 所	青森県むつ市　　障　害 10 事業所(内指定管理１ヶ所) 保育園 4 事業所（内指定管理１ヶ所）
代 表 者	理事長　内田大輔
職 員 数	216 名（令和３年４月１日）

Ⅱ．事業領域

≪法人本部≫

◆法人本部は理事長統括のもと、人事労務管理及び財務会計管理などを一元化に行うと共に、法人各事業所の経営支援等を行います。

法人本部は経営指標にもとづく健全な事業運営の予算の編成及び執行、決算業務の遂行、定期的な財務分析報告等の財務管理を担当し、法令順守及び経理規定に基づく適切な会計処理を推進します。

≪年間予定≫

月	法人関係	職員関係
4	公認会計士実査	辞令交付、職員面談（目標設定）
5	決算監事監査	
6	理事会・定時評議委員会(決算承認)・役員改選 資産登記、財務諸表等公開	賞与査定・賞与支給
7		
8		
9	理事会・評議委員会	職員面談（上半期）
10		
11		
12	理事会・評議委員会	賞与査定・賞与支給
1		職員自己評価、職員面談 （年度末評価、次年度希望）
2		人事考課会議
3	理事会・評議委員会(次年度計画承認)	職員大会

≪障害部門・成人≫

施設名	実施事業	事業内容
陽幸園	生活介護 （利用時間８：30～16：30）	介護を必要とする方に、食事の提供や入浴、排泄などの支援を行うと共に、創作的活動や生産活動の機会を提供します。
	施設入所 （利用時間 16：30～8：30）	施設に入所する方に夜間や休日に食事の提供や入浴、排泄などの介助を行います。
	短期入所（併設型） （利用時間２４時間）	自宅で介護する方が病気の場合等に、短期間、夜間も含め、施設で食事の提供や入浴、排泄などの介助を行います。
	日中一時支援 （地域生活支援事業）	障害児・者等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び、日常的に介護している家族の一時的な負担の軽減を図ります。
	福祉ホーム （地域生活支援事業）	グループホームより、より支援者との関わりが多く、より安心な生活空間を提供します。
しもきた療育園	生活介護 （利用時間８：30～16：00）	介護を必要とする方に、食事の提供や入浴、排泄などの支援を行うと共に、創作的活動や生産活動の機会を提供します。
	施設入所 （利用時間 16：00～８：30）	施設に入所する方に夜間や休日に食事の提供や入浴、排泄などの介助を行います。
	短期入所	自宅で介護する方が病気の場合等に、短期間、夜間も含め、施設で食事の提供や入浴、排泄などの介助を行います。
	日中一時支援	障害児・者等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び、日常的に介護している家族の一時的な負担の軽減を図ります。
	通所生活介護 （利用時間９：00～16：00）	日中事業所に通い、食事や入浴などの介助や創作活動の場を提供します。
すまいる	通所生活介護 （利用時間９：40～15：40）	介護を必要とする方に、昼間、食事や排泄の介助を行うと共に創作活動や生産活動の機会を提供します。
工房歩み	就労継続支援Ｂ型 加工・パン工房 （９：00～15：20） クリーン事業部 ・下北文化会館（9:45～16:20） ・市役所（9:30～16:20） ・はまゆり学園	一般企業への就労が困難で、年齢や心身の状態などの理由から雇用による就労が困難な方に、生産活動やその他活動の機会を提供し、就労するために必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他必要な支援を提供します。
グループホーム 陽まわり荘	共同生活援助 １号館・２号館	障害のある方々が共同の住居で暮らし、地域において自立した日常生活を営むことが出来るよう、世話人や生活支援員が入浴、食事、排泄、相談、その他の支援または援助を適宜に行います。

≪障害部門・児童≫

施設名	実施事業	事業内容
はまゆり学園	福祉型障害児入所	入所児童に、食事・入浴・排泄・着替え、余暇の活用など生活面全般の支援を行います。また、社会体験の機会を数多く設け、地域生活に備える取り組みを行います。
	短期入所	短期間、夜間も含め施設で入浴、排泄、食事等の提供を行います。
	日中一時支援 （地域生活支援事業）	障害児等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び、生活を共にしている家族の一時的な負担の軽減を図ります。
キッズ すまいる	放課後等デイサービス 利用時間（8:00～17:00）	早期療育支援を必要とする児童に対し、1 人ひとりの特性と発達段階に応じた個別支援計画を作成し、日常生活における基本動作の習得や、社会生活に必要なコミュニケーション能力等の習得を目的とします。
	日中一時支援 利用時間（8:10～18:30）	障害児等の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び、生活を共にしている家族の一時的な負担の軽減を図ります。
ちゅうりっぷ	児童発達支援	肢体機能に障害のある幼児に対し、日常生活の支援や地域社会の中で活き活きとした生活を送る為に、それぞれの適した環境のもと、豊かに楽しく主体的に過ごすことができるよう幼児とその家族に対して生活全般にわたって支援します。
	放課後等デイサービス	肢体機能に障害のある児童・生徒に対し、日常生活の支援や学習指導、機能維持訓練等の療育を行い、「その子らしさを大切に」を基本に、一人ひとりの個性に合わせた支援をすると共に児童・生徒の社会自立への促進を図ります。
	生活介護	日中事業所に通い、食事や入浴などの介助や創作活動の場を提供します。
こども発達 支援センター りりぃ	児童発達支援	未就学のお子さんに対して日常生活の支援や地域社会の中で活き活きとした生活を送る為に、それぞれの適した環境のもと、豊かに楽しく主体的に過ごすことができるよう幼児とその家族に対して生活全般にわたって支援します。
	放課後等デイサービス	就学後～18 歳に達する児童・生徒に対して日常生活の支援や学習指導、自立や進路（就労・進学）の準備等、将来的に社会的自立を図ることができるようにスキルを身に着ける支援を行います。
	障害児相談支援	お子さんの日常生活全般に関する相談及び、障碍児支援利用計画の作成。訪問による継続的なモニタリングその他必要な相談支援、助言などを行います。
	保育所等訪問支援	保育園及び教育機関を訪問し、保育士及び担任、関係者への間接支援を行います。アセスメント及び個別支援計画の作成を行います。

≪相談支援事業≫

施設名	施事業	事業内容
ぱれっと	一般相談	施設や精神科病院に長期間入所、入院している方が、アパート等での生活を希望した際に、住宅確保や日中活動先の見学・体験（地域移行支援）を支援し、24 時間地域で安心して生活できるよう連絡体制を整えて対応します。
	特定相談支援	主に 18 歳以上の方が利用する障害福祉サービスについての情報提供や事業所見学に同行、サービス等利用計画案を作成して事業所につなぎ、一定期間ごとにモニタリングを行います。
	障害児相談支援	18 歳未満の方が利用する障害児通所支援についての情報提供や事業所見学に同行、障害児支援利用計画案作成して事業所につなぎ、一定期間ごとにモニタリングを行います。

≪保育部門≫

施設名	実施事業	事業内容
白百合保育園	日中保育 (7：00～18：00)	保育」面では子どもの生命の保持、情緒の安定及び全ての年齢に於いて健康で安全、快適であり生理的要求が満たされるための援助。「教育」面では子供が健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助を行います。
	乳児保育	保護者ができるだけはやく職場復帰できるよう、6 か月以上から乳児を受け入れ、ミルクや離乳食を提供し、健全な成長を促します。
	延長保育 (18：00～19：00)	保護者の就労時間により希望者の保育を実施します。
	障がい児保育	心身に障害を有する乳幼児で集団に馴染み、日々通園できる園児を受け入れます。発達の遅れやそれぞれが障がいを理解し、保護者や関係機関との連携を取りながら保育支援を行います。
小川町第二白百合保育園	日中保育 (7：00～18：00)	「保育」面では子どもの生命の保持、情緒の安定及び全ての年齢に於いて健康で安全、快適であり生理的要求が満たされるための援助。「教育」面では子供が健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助を行います。
	乳児保育	保護者ができるだけはやく職場復帰できるよう、6 か月以上から乳児を受け入れ、ミルクや離乳食を提供し、健全な成長を促します。
	延長保育 (18：00～19：00)	地域生活や保護者の勤務時間等から判断して、平常保育時間内にお迎えの困難な園児のため、時間を延長して保育を実施します。
	障がい児保育	心身に障害を有する乳幼児で集団に馴染み、日々通園できる園児を受け入れます。発達の遅れやそれぞれが障がいを理解し、保護者や関係機関との連携を取りながら保育支援を行います。
風間浦保育所	日中保育	「保育」面では子どもの生命の保持、情緒の安定及び全ての年齢に於いて健康で安全、快適であり生理的要求が満たされるための援助。「教育」面では子供が健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助を行います。
	乳児保育	保護者ができるだけはやく職場復帰できるよう、6 か月以上から乳児を受け入れ、離乳食を提供し、健全な成長を促します。(生後 6 カ月～満 1 歳児未満の乳児)
	延長保育 (18：00～18：30)	保護者の勤務や時間等から判断して、平常保育時間内にお迎えの困難な園児のため、時間を延長して保育を実施します。
	障がい児保育	障がいがある乳幼児を受け入れ、それぞれが発達の遅れや障がいを理解し、保護者や関係機関との連携をとりながら保育・支援を行います。
	一時保育	専業主婦や日常就労していない保護者の方の急病・冠婚葬祭・育児疲れ等により緊急に保育を必要とする場合に一時的にその必用に応じて幼児の保育を行います。
	広域保育	風間浦村に住民登録し、現在村内に居住(単に住民登録のみで日常的に村で生活していない場合を除く)している方で、保護者の仕事の都合等により、他の市町村管轄の保育所に入所希望がある方。
	地域子育て 支援センター	主に乳幼児の子どもとその子どもを持つ方を対象に気軽に集える機会を提供したり、育児・保育に関する悩みへの相談や子育ての情報提供を行います。
ナーサリー しらゆり （小規模保育事業）	日中保育 （7：00～18：00） (2 か月児～)	保護者ができるだけはやく職場復帰できるよう、2 か月以上からの乳児（定員制限あり）を受け入れ、乳幼児一人ひとりの個性を尊重し、個々の発達のためにできる限り良いケア（身体的、情緒的）を提供します。また、こどもの保護者に対して保育に関する指導・助言を行います。
	延長保育 (18：00～18：30)	保護者の勤務や時間等から判断して、平常保育時間内にお迎えの困難な園児のため、時間を延長して保育を実施します。

【職員配置】

≪法人本部≫

職　名	本部長	事務主任	事務員
配置数	1	2	2

≪障害施設：成人≫

施設名	陽幸園	しもきた療育園	すまいる	工房歩み	陽まわり荘	ぱれっと
管理者	1（すまいる兼務）	1(兼務)	（1陽幸園兼務）	1（陽まわり荘兼務）	（1歩み兼務）	（1兼務）
事務員		2		1	（兼務 1）	
課長	1（サビ管）	1（サビ管）		1（サビ管）		
サービス管理責任者	（1）	（1）	（1）	（1）	（1兼務）	
主任・副主任		1（主任）	1（サビ管）	1		
生活支援員	20	16	6		（4兼務）	
職業指導員				10(パート 2)		
相談支援専門員・相談員						2
看護師・（准看護師）	2（内准看 1）	1	1			
管理栄養士・栄養士	1（管栄）	1				
管理員・運転手	2（パート 1）	2（パート 1）		1(運転手)		
調理員	5	5（パート 1）	1	1		
世話人					3）	
合　計	32	30	9	16	3	2

≪障害施設：児童≫

施設名	はまゆり学園	キッズすまいる	ちゅうりっぷ	りりぃ
施設長	1（キッズ兼務）	（1はまゆり兼務）	（1兼務）	1（児発管）
事務員	1	（兼務 1）	（兼務 1）	（兼務 1）
部長・課長	1（課長）		1（児発管）	
主任	1（児発管）	1（児発管）		1
児童発達支援管理責任者	（1）	（1）	（1）	（1）
児童指導員	8	1		2
保育士	3	2	2	4（パート 1）
職業指導員	1			
指導員/支援員	2	2	1	
相談専門員				1
看護師	1		1	1
栄養士	1			（1）
調理員	3			1（パート）
合　　計	23	6	5	11

≪保育施設≫

施設名	白百合保育園	小川町第二白百合	ナーサリーしらゆり	風間浦保育所
園長・所長	1	1	1	1
事務員	1	1		1
主任保育士	1	1		
副主任保育士	1	1	1	
保育士	19(パート 1)	16(パート 1)	5	6
保育補助				2
看護師	1		1	
栄養士		1		1
調理員	3 (パート 1)	2	2	1
用務員･運転手	1 (用務)			1 (運転)
合　計	28	23	10	13

【各施設利用者状況】

≪障害・成人≫

陽幸園			しもきた療育園			すまいる		
	定員	契約数		定員	契約数		定員	契約数
生活介護	50	44	生活介護	40	39	生活介護	20	21
施設入所	50	44	施設入所	40	39			
短期入所	3		短期入所	2				
日中一時	3		日中一時	1				

	工房歩み			陽まわり荘（１・２館）	
	定員	契約数		定員	契約数
就労継続支援Ｂ型	34	34	共同生活事業(女子)	5	5
			共同生活事業(男子)	5	5

≪障害・児童≫

	はまゆり学園			キッズすまいる	
	定員	契約数		定員	契約数
入所	30	20 （内措置入所４・ 経過入所 1）	放課後等デイサービス	30	27
短期入所	4	13	日中一時支援		25
日中一時支援		17			

	ちゅうりっぷ			こども発達支援センターりりぃ	
	定員	契約数		定員	契約数
児童発達支援・ 放課後等デイサービス	10	6	児童発達支援	16	45
			放課後等デイサービス	4	24
生活介護	10	6			

≪相談支援≫

	ぱれっと		
	基本相談	計画相談	障害児相談
人数	15	374	61

≪保育≫

	白百合保育園		小川町第二白百合		ナーサリーしらゆり		風間浦保育所	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
人数	120	110	110	116	19	13	40	34

Ⅲ．品質マネジメント

■社会福祉法人みちのく福祉会はISO９００１品質マネジメントシステム（品質マニュアル）に則り、当法人の利害関係者のニーズ・期待に応えるため、法人中長期計画各事業状況（戦略）に沿って、外部及び内部に渡って課題を抽出し、当年度の事業を展開する。

≪利害関係者のニーズと期待について≫

当会の利害関係者	要求事項（ニーズ・期待）	備　考
利用者とそのご家族	健康・安全の維持、優しい心遣い	障害施設
園児と保護者	健康・安全の維持、優しい心遣い	保育園
生産品を購入してくださる顧客	確実なものづくり、おいしいパン	工房歩みの生産事業
官公庁（役所）	法令、規制要求事項の順守	法人本部が主体で対応
業務委託（清掃作業等）の元受け会社	契約書に基づき確実な作業の実施	当会が業務受託する場合（工房歩み他）

令和３年度　重点目標

≪法人本部≫

取組目標	取　組　内　容
原点からやり直す	・理念・使命・ビジョンの共有 ・収益低下の事業を再編し、収益の安定を図る ・購買先業者の評価を適正に行い経費の削減を図る ・SDGs 取組の推進
選ばれる職場になる取り組み	・人事考課規定の改正(公平・公正であること) ・給与規定・就業規則の改正 ・残業のサービス化は徹底して許さない仕組みの構築、文化の醸成
高等教育機関との連携強化	・教育型インターンシップ事業に参画。長期インターンシップ活用 ・交流事業の実現(高度人材と現職員との交流から生まれるモノへの期待)
収支のベストバランスの実現	・事業所単位の月別決算書の精度をあげることで全体の収支状況を適時把握する（月次決算会の開催） ・目標収益差額を達成する ・事業所ごとの科目別予算管理および柔軟な資金計画、役員会への諮問 ・人件費の妥当性評価、検証
事業経営における内部統制	・これまで通り西谷先生に内部統制指導をお願いする。（先生の指導の下，構築していく） ・理事会・評議員会の適切な開催 ・出納職員、出納責任者における経営知識向上のための勉強会の開催 ・職員の働きに関係する職務に携わる者への労務関係法規などの知識向上の取組み
発信力の強化	・『広報会議を（仮称）』を開催し、手法・対象・経費など一から考え直す

≪障害・保育≫

１．サービス品質の向上

■ＱＭＳの維持、継続的改善にむけて必要な人材（資源）を確保、育成し、職員満足度の向上及び利用者へのサービスの質の向上へ取り組む。

部　門	重点項目
障　害	・計画原案～利用者・保護者への説明・同意～　詳細なケース記録の作成(カルテに近い意識)～記録を基にした支援会議の充実～支援内容の向上～利用者・保護者への面談、報告などの充実
保　育	・保護者との係わり合いの強化に努める(保護者からの情報受信、保護者への発信、記録)

１－a.記録の重要性と保護者との関わり

■障害部門：障害事業所において個別支援計画は、利用者支援の要である。通常、年数の経過とともに、利用者や家族からの要望も多様化するため、将来を見据えた内容の充実した支援計画の立案が求められる。特に個別支援計画の立案において必要な、担当する職員の知識及びアセスメント力、観察力等のスキルアップを図る。

【取組内容】　＊個別支援計画作成の仕方、モニタリング会議、アセスメントやケース記録等研修にて再確認し、スキルアップを図る（外部研修及びｅラーニングの活用等）

＊保護者との面談の充実

■保育部門：時代の変化に伴い、社会から求められる「保育」への役割も変化してきていることの事実を理解する。子供や保護者の最も近くにいる専門職としてどのような使命があるのかを再認識し、利用される方の思いに、どれだけ応えることができるか、保護者さんとの関わり方を今以上に充実させる。
また、子供の健やかな成長のために、互いに連携を図りながら相互理解を深め、信頼関係を構築する。

【取組内容】　＊保育では保護者の置かれている状況やその思いを受け止め理解し、子育てに関する情報交換や保育の意図の説明、子供の成長の喜びの共感や対話が重要であり、多様化する家庭や保護者を支援するため、保育士個々の力量に合わせたコミュニケーション能力のスキルアップを図るための学びの機会を充実させる。

＊登降園時、連絡帳、園便り、保護者面談会、参観日等の機会の内容の充実を図る。

１－b.　品質目標の達成

■施設長は品質目標達成にむけて、それぞれがどのように貢献するかを各職員に認識させ、目標達成に取り組む。

【取組内容】　＊各施設は年度初めに法人品質目標に整合した「品質目標」を設定し、品質目標達成活動を実施。月末に達成度の確認を行う。

＊品質目標は月毎に結果を品質目標実施計画書（報告書）に記録し、管理する。

＊施設長は月毎に達成度を確認し、達成進捗状況は法人定例会議及びマネージメントレビュー等で確認する。未達が予想される場合はISO管理責任者に報告し、適切に処置する。

１－c．リスクマネジメント

■QMS（品質マネジメント）の計画（年初予算立案及び、新規事業の立ち上げ等）時、顧客のニーズ・期待に応えるため事業継続に影響を与える「リスク及び機会」を決定し、リスクの防止及び機会の拡大に取組む。

種類	定　義	具体例
機　会	望ましい結果が期待できるもの	販売拡大、新規受注の期待、事業拡大のチャンス等
リスク	望ましくない結果が想定されるもの	売上不振、事故、クレーム、自然災害等事業継続するあたりマイナスの側面

※望ましい影響（＝機会）を増大し、望ましくない影響（＝リスク）を防止、または低減する

①機会の増大

▶事業内容の変更、又はその他大幅な変更が予想される以下の事項について、随時見直しを行う。

項　　目	内　　容
事業について	新規事業の開始、事業内容の変更他
法令・規制要求事項の変化	新法、改正他
設備変更	設備の変更：建屋を含む大幅なもの
その他	状況の変化に応じて生じた事案への指示事項

【取組内容】＊新法、法令の改正等、法人をとりまく状況の変化に応じ、事業の統合や新規事業の立ち上げなどに取り組み、事業経営の安定を図る。
＊各事業所において不具合の出てきた設備及び備品の修繕や交換を実施する。
＊購買先評価は年度末に所定の用紙にて評価する。また、年度途中でも適宜に取引状況を確認し、早い段階でしかるべき対応を行う。

②リスクの防止及び低減

▶事業の継続に影響を与えるリスクの防止、軽減のため、以下の事項に取り組む。

【取組内容】＊みちのく福祉会職員倫理綱領及び行動規範の職員への周知徹底。（4 月）
＊みちのく福祉会 BCP（事業継続）計画のシュミレーション
（対象災害⇒火災、地震（津波含）、豪雨による水害、放射線漏れ等）

▷ＢＣＰ計画シュミレーション

１．目的　策定したＢＣＰが災害時に、施設の重要業務としてのサービスを利用者に対して提供するために有効に機能するか検証し評価を行う。評価により改善等が必要となった場合は、速やかに改善し、再度評価を実施する。評価活動は継続的に行い、定期的且つ確実に実施していく仕組みを法人内に構築する。

２．ＢＣＰの自己評価とチェック

２-1 評価のポイント

①被害想定とその対策に漏れや盲点がないか確認する。（「想定外」だったとならないように、基本的なところの思い込み等がないようにする）

②行動指針やマニュアル手順に不適切なところや矛盾がないか確認する。

③マニュアル全体が分かり易いものになっているか確認する。
④必要手順書、チェックリスト、参考資料等が揃っているか確認する。
⑤あらかじめ震災時に継続する重要業務についてどのくらいの経営資源で実行できるか想定する。

2-２　災害発生シュミレーションによるＢＣＰ評価
災害の発生により、施設内外の状況が具体的にどうなるかをできるだけ実践的にシュミレーションすることによりＢＣＰマニュアルの内容が適切か否かを判断する。
①可能な限り実地で行いチェックする。
②安否確認の連絡が適切に実施できるかを確認する。
③法人内事業所の各施設の連絡方法、安否確認、協力体制等について想定被害の大きさに合わせてシュミレーションする。
④災害時に継続する重要業務が想定の経営資源で実行できるか確認する。

2-3　自己評価チェックリストを活用したＢＣＰ評価
各施設に適した評価チェックリストを作成し、それに基づき定期的に自己評価を行う。

2-4　自己評価と評価結果の記録
自己評価した結果を記録として残すと共に、その自己評価した結果、改善が必要な物については、その対処として実施した内容を記録し、その対処が有効かどうかを再度確認する。

３．ＢＣＰマニュアルの維持・更新
ＢＣＰマニュアルの記載事項において変更事項が生じた場合は速やかに変更し、常に最新のマニュアルであることを確認しておく。

3-1 維持・更新
①ＢＣＰマニュアルの更新手続きはＩＳＯの文書管理の手続きに則り実施。施設長や担当職員が人事などで異動しても当該実施が行われるようにしておく。
【更新処理の必要なケース】
▸施設内の組織体制に大きな変更があった場合
▸各施設協力業者に変更があった場合
▸施設が提供するサービス事業に変更があり重要業務に変更があった場合
▸職員の人事異動や職員の連絡先に変更があった場合
▸施設が関係する外部の機関等の連絡先に変更があった場合
▸関係法令の変更により、施設の重要業務サービス提供に大きな変更があった場合

※行政避難指針及び避難体制の変更があった場合等、新しい情報があった場合等、随時変更実施していくものとする。

【リスク対策研修】

◎個人情報管理　目的：利用者及び施設に限らず、社会的に個人情報漏洩がもたらす問題が大きくなっている中、個人情報保護の取り扱い及び情報漏洩がもたらすリスクを考えるため個人情報保護法の基礎から学ぶ。日々の業務の中でのリスク予防の意識を高める。

テーマ	内　　容	備　　考	対象者
福祉施設の個人情報管理	個人情報保護法の理解	サポーターズカレッジ（*e*ラーニングセミナー）	全職員
	事例で学ぶ個人情報の落とし穴①（住所録・会話）		
	事例で学ぶ個人情報の落とし穴②（写真の扱い）		
	事例で学ぶ個人情報の落とし穴③（情報の紛失、その他）		

◎リスクマネジメント

目的：施設における事故による訴訟問題等が増加している中で、事故のリスクを最小限にすることや日々の業務の中でヒヤリハット及び KYT 活動（危険予知訓練）を実施する事の重要性を学ぶ。

テーマ	内　　容	備　　考	対象者
リスクマネジメントについて	リスクマネジメントとは	サポーターズカレッジ（*e*ラーニングセミナー）	全職員
	リスクマネジメントの仕組みづくり		
	危険予知訓練（ＫＹＴ）		
	ＫＹＴ活動の効果的な進め方　（受講者Ｑ＆Ａ）		

◎虐待防止研修　目的：虐待防止法の施行後も虐待問題は増加している中で、虐待の起こる背景、虐待が起きないようにするにはどうすればよいのかを学び、職員それぞれが日々の業務の中に虐待防止の為の意識を高める。

テーマ	内　　容	備　　考	対象者
障害者支援の基本	障害者虐待防止とは	サポーターズカレッジ（*e*ラーニングセミナー）	全職員（新任職員は４月実施）
	障害者虐待はなぜおこるのか？		
	障害者虐待防止のための仕組みづくり		
	身体拘束について		
	権利擁護研修	青森県社会福祉協議会	新人職員 中堅職員 管理者

◎感染症対策研修　目的：各事業所におけるサービスは集団の中で行われており、感染拡大のリスクは大きい。感染症拡大防止の基本、持ち込まない、拡大させないことを意識し、発生した場合の対応を学ぶ。

テーマ	内　　容	備　　考	対象者
感染症対策	スタンダードプリコーション	サポーターズカレッジ（*e*ラーニングセミナー）	全職員
	「ノロウイルス」流行性胃腸炎二次感染防止		
	インフルエンザの対応		
	その他の感染症		
	感染汚物処理の実践	各事業ごとに実践	

【リスク管理】

＊日々の業務の中で発生した品質における不適合については是正処置を実施し改善する。

⇒あらかじめ是正処置すべき不適合を明確にし、是正処置の基本プロセスに則り、『是正処置報告書』に原因の追究⇒対策立案⇒効果の確認を記録する。各事業所に共通する是正処置案件については速やかに各事業所に水平展開し、共通認識を図り、以後の事故の抑制に繋げる。

（管理：各事業所ＩＳＯ担当者）

≪是正処置すべき不適合≫

	内　容
①	顧客からの苦情 ・工房「歩み」における製品（パン等） ・サービス　に対する苦情様々な顧客苦情（情報）の中から管理責任者が是正が必要と判断したもの
②	法令・規制要求事項からの逸脱
③	内部監査不適合
④	人身事故の発生
⑤	緊急事態の発生
⑥	顧客所有物の紛失、損傷
⑦	その他理事長が是正すべきと指示する不適合

※人身事故等、官公庁に提出の「事故報告」については、所定の提出様式で提出し、それをもって是正処置報告記録とする。

２．選ばれる職場になる取り組み

■初めての職場、新しい職場、長く働ける職場として、入職された方が「働きがい」を実現し、選んでいただける魅力ある職場作りに取り組む。

部　門	重　点　項　目
障害・保育共通	人事考課の規定の改正(公平・公正であること) ライフビジョンとコーポレートビジョンのすり合わせ（面談の充実）

■人材育成・人材確保・職場環境の整備

【取組内容】

≪人材育成≫

＊法人キャリアパス体系及び職層別研修計画に照らし合わせて、当会において業務を行う為の知識、力量アップに向けて、日々の職務の中での指導及び職員それぞれの能力や習熟度に合わせた外部研修への派遣や内部研修の充実を図る。

＊プリセプター制度により教える側、教えられる側双方のスキルアップを図る

＊資格取得の為の補助金、必要研修参加への配慮

※みちのく福祉会キャリアパス体制、研修体系図、研修サイクル管理、研修計画参照

≪人材確保≫

＊施設実習の受け入れ等の機会を利用し、福祉事業、保育事業の魅力を伝え、人材及び人員の確保に努める。

＊職員の働きがいやモチベーションアップ及び職員定着の為、日々の面談が充実した内容になるように考課者研修（面接の仕方、職員との面談方法）等を実施し、人事考課の質を高める。

＊個人のキャリアビジョンを作成、可視化することで将来への展望、在りたい自身の姿を確認し、将来像を描きやすくすることで不安を取り除き、モチベーションアップの維持向上につなげる。

＊福利厚生の充実（特別休暇の付与、産前産後休暇、フィットネスクラブ法人会員等）

＊職員の健康管理（各種がん検診の実施、すこやかサポート事業所認定、健康指導実施）

≪職場環境の整備≫

＊職場の状況に合わせてＩＣＴシステム等の導入により、職員及び利用者の身体的負担を軽減する。

＊介護ロボット導入後の効果確認。

＊職員負担軽減の為の新規福祉機器情報の収集及び導入等

■一般事業主行動計画（計画期間　令和３年１月１日~令和５年 12 月 31 日）

１．雇用環境の整備に関する事項

【目的】

女性職員が７割を占めており、子育てをする女性職員が働きやすい環境の整備、及び女性管理職の育成を推進する。

【計画】

①　管理職手前の職階にある女性労働者を対象とした、昇格意欲の喚起又は管理職に必要なマネジメント能力等の付与のための研修の実施。

（年３回の研修・・・内部研修、外部講師による研修）

②　子の看護休暇の拡充

（法令を上回る日数の付与・・・１人の場合７日、２人の場合 14 日）

（対象年齢の引き上げ・・・小学４年生まで）

２．次世代育成支援対策に関する事項

【目的】

法人の仕事を知ってもらい、福祉の仕事に対する理解や法人のＰＲを行い雇用の創出及び人材確保に繋げる。

【計画】

①　中・高・大学短大生のインターンシップの受け入れ

短期・長期のインターンシップの受け入れ（全事業所対象）

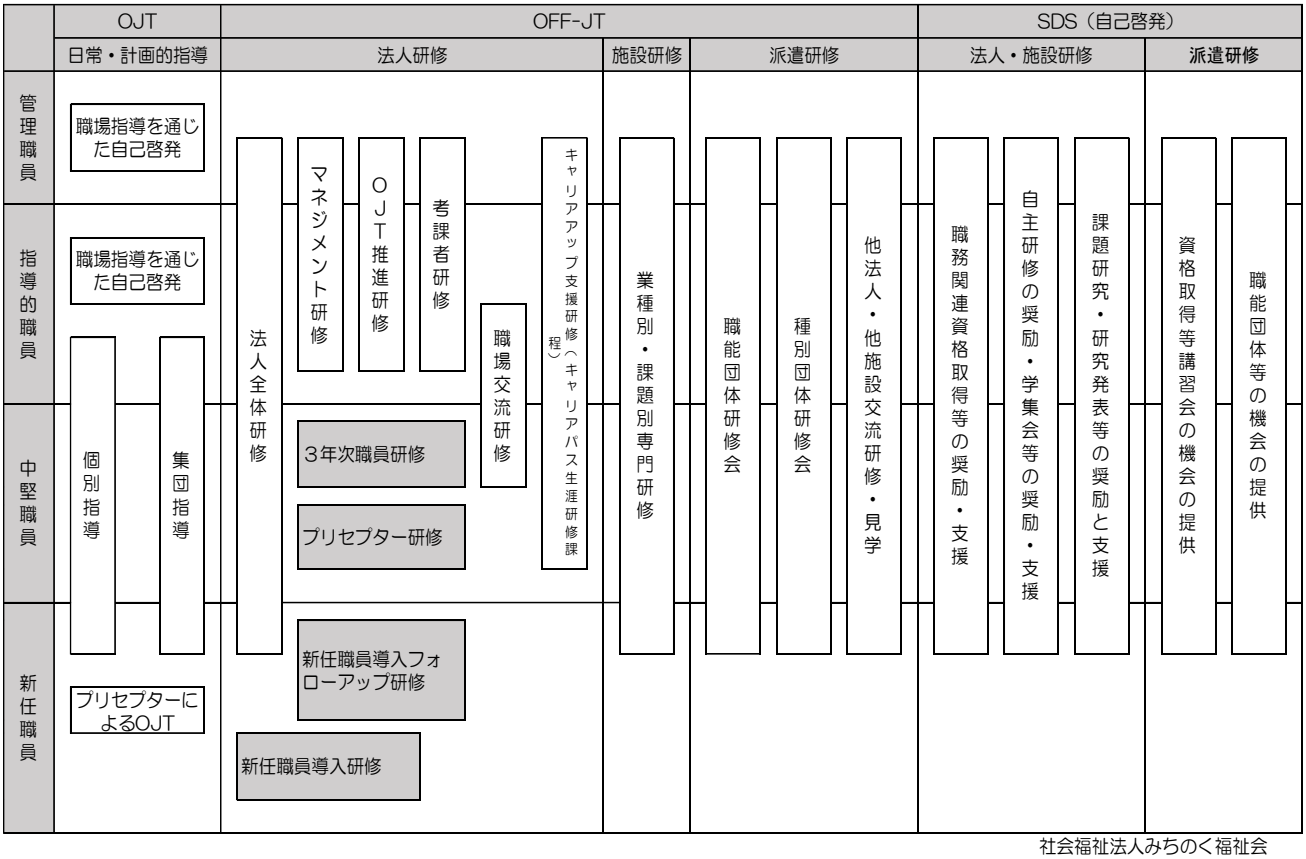
※　新型コロナウィルス感染症の発生状況により、回数・人数等決定する。

みちのく福祉会キャリアパス体系

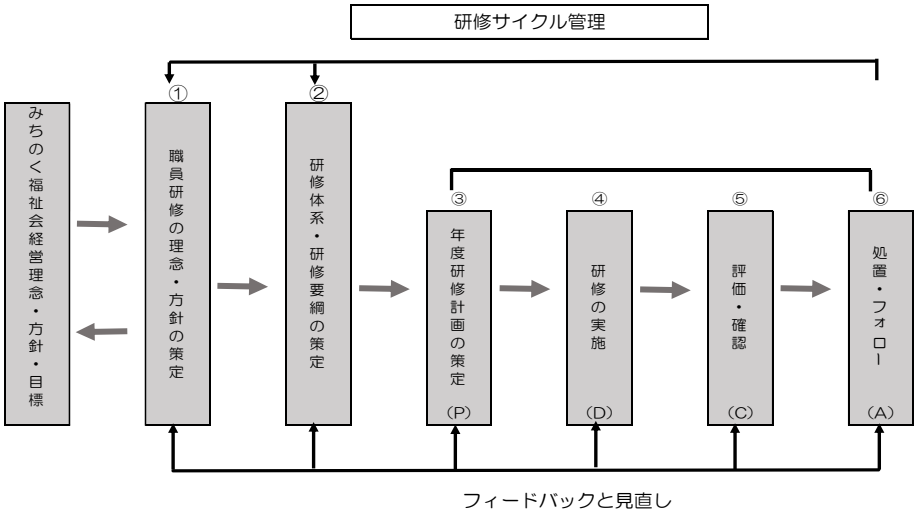
職層等級		役職	担当職務とその水準 階層に応じて行う業務とその水準 リスクマネジメント	柔軟思考・業務改善	人事・人材育成	コミュニケーション	業務遂行能力・技術	到達目標 期待される姿勢・行動	責任と権限	取得目標資格等	習熟に必要な教育項目・参加研修
管理	９級	施設長 園長 事務長	危機管理・リスク対応の最高責任として対応を決定し管理する	業務改善計画の策定・実行の全般を指導・監督し、その結果を評価管理する	経営的視点から、中長期にわたる人事・人材育成全般を指揮・監督する	福祉分野にとどまらず、広く地域社会との連携を図り、法人の事業運営に貢献する。	・統括的な管理者に必要な広く・高度なマネジメント意識 ・高度な戦略的発想力 ・地域福祉推進役としての力量	・管理・監督業務の最高責任者としての自覚を持ち、法人理念の実現に向けて職員に方針を示し導くとともに、幅広く職員の信頼を得る努力をする。 ・法人全体の事業運営を主導し、地域貢献を目指す姿勢	事業運営全般に係る極めて広範囲かつ高度な承認・決裁権を有する。	ビジネスマネジャー 福祉施設士 社会福祉施設長資格 社会福祉主事 防火管理者等	①組織マネジメント、経営リスク、財務管理、指導者育成等の専門研修 ②外部研修（キャリアパス　管理職員向け及びその他の管理職員向け研修）等 ③資格取得講習会の機会の提供
管理	７・８級	部長 課長	事業経営にかかる事態に危機管理・リスク対応全般を行う	業務改善計画を策定しその実行を管理・監督する	研修制度を活用し、育成計画を策定し実施を指揮・監督する。	他法人の・外部機関との連携を図り、地域社会との連携を目指す	・管理者に必要なマネジメント知識 ・管理統率力、総合的判断力 ・戦略的発想力	管理者としての自覚、公正な業務の実施と説明責任を果たし、幅広く職員の信頼を得る。	担当事業所の業務運営全般の判断・裁量権を有し、事業目標の達成責任を負う		①部門マネジメント、リーダー育成、労務管理等の専門研修 ②外部研修（キャリアパス　チームリーダー及びその他のリーダー向け研修） ③資格取得講習会の機会の提供
指導	５・６級	主任 副主任	苦情・クレームの発生時の初期対応、日常業務に係る苦情等の対応を行う	管理者のもと業務改善計画の策定を補佐し、その実行の中心となる	日常業務を通じた育成の中心となり指導を行うとともに、ＯＪＴを行う下位職員の指導を行う。	他部門・他法人との調整役となり、法人全体の円滑なコミュニケーション（報・連・相）の形成に貢献する	・広範かつ高度な支援及び介護技術・知識 ・管理・マネジメントの基礎知識を身につける ・業務改善力、問題解決力、指導力	・役職者としての自覚、行動がどのような影響を与えるのかを考えて行動する姿勢 ・部門を超えて、法人全体への影響を考慮しながら業務を遂行する	担当事業所の業務運営全般の判断・裁量権を有し、事業目標の達成責任を負う	サービス管理責任者 社会福祉士 精神福祉士 介護福祉士 メンタルヘルスマネジメント検定（Ⅰ・Ⅱ種） 看護師免許 管理栄養士 栄養士	
一般職	１・２・３・４級	Ａ	広範な実務知識を生かし、リスクの発生に努め、適切に報告・連絡する。		ＯＪＴの実務担当者として教育・指導を行う。	他部門やボランティアとの調整役となり、法人全体の円滑なコミュニケーション（報・連・相）の形成に貢献する	・高度な支援・介護技術や知識 ・チームマネジメント、人材育成の基礎知識を身につける ・専門性を高め、拡大させる	・中核メンバーとしての自覚をもつ ・部門間連携のため、積極的に関わりを持ち、法人全体のチームワークを形成する ・規律性、協調性、積極性、責任性	管理者の下、一定範囲の責任業務範囲について判断・裁量権を有する。業務達成責任を負う。		①業務に必要な定型業務の習得 ・リーダーシップ ・下位職員及び学生実習者のへの指導 ②メンタルヘルスマネジメント（ラインケア） ③リスクマネジメント（予知訓練・予防処置） ④自己研鑽の姿勢 ⑤外部研修（キャリアパス中堅職員及びその他の中堅職員向け研修） ⑥資格取得講習会の機会の提供
一般職	１・２・３・４級	Ｂ	日常業務を通じてリスクの発見に努め、環境整備を行うとともに適切に報告・連絡する	問題の発見と業務改善の企画・提案を行う。		・緊急時等も状況に応じた的確な報告、連絡、相談を行う	・実践的な支援及び介護技術・知識 ・臨機応変な対応ができる応用力 ・専門性を高める	・中核メンバーとしての自覚をもつ ・部門間連携のため、積極的に関わりを持ち、法人全体のチームワークを形成する ・規律性、協調性、積極性、責任性	管理者の下、一定範囲の責任業務範囲について判断・裁量権を有する。業務達成責任を負う。		
一般職	１・２・３・４級	Ｃ		問題の発見と適切な報告を行う		的確な報告、連絡、相談の実施	・実践的な支援及び介護技術・知識 ・専門性の基礎を身に付ける ・社会人としての基本的なビジネスマナーを身につける ・基本的な介護技術・知識 ・専門性の基礎を身に付ける	・中核メンバーとしての自覚をもつ ・他部門間と協力し法人全体でチームワークを形成・強化する姿勢 ・規律性、協調性、積極性、責任性 ・社会人・組織人としての自覚 ・謙虚な姿勢で知識の吸収に努めるとともに、チームの一員として業務に取り組む姿勢 ・規律性、協調性、積極性、責任性	日常業務全般を独力で遂行できる。下位職員の指導を行う 担当業務範囲について業務達成責任を負う		①業務に必要な定型業務の習得 ・各施設業務基本マニュアル ②業務に必要な知識の習得 ・社会人としての心得・マナー ・法人理念の理解 ・障害種別の理解 ・個別支援計画その他の記録について ・感染症対策 ・支援及び介護技術（障害者との関係の構築） ・虐待防止・人権擁護 ・メンタルヘルスマネジメント（セルフ）　等 ③外部研修（キャリアパス初任者及びその他の新人職員向け研修） ④資格取得講習会の機会の提供
準職員			日常業務を通じて安心・安全のサービス提供の為最低限必要な知識を身につけて担当業務を遂行する事が出来る	業務上の問題や分からないことを上司に相談できる		「報告・連絡・相談」とチームワークの重要性を理解し、担当業務を遂行する	・社会人としての基本的なビジネスマナーを身につける ・基本的な介護技術・知識	・社会人・組織人としての自覚 ・規律性、協調性、積極性、責任性	職員としての身だしなみ、言葉使いに気をつけ、頻繁な遅刻やシフト変更、無断欠勤をしない。		

社会福祉法人みちのく福祉会

研修体系図



社会福祉法人みちのく福祉会



【研修実施形態】

OJT ～職務を通じての研修	・職場の上司（先輩）が、職務を通じて、または職務と関連させながら、部下（後輩）を指導・育成する
OFF-JT ～職場を離れての研修～	・職務命令により、一定期間日常業務を離れて行う研修。職場内研修と職場外派遣研修の二つがある
SDS ～自己啓発支援制度～	・職員の職場内外での自主的な自己啓発活動を職場として認知し、経済的・時間的・物的支援等を行う。

社会福祉法人みちのく福祉会

研修計画表

１．階層別研修

	研　修　名	開催月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7・8・級	トップマネジメント研修												
	（1）労務管理												
	（2）人事管理（職員育成と人的資源管理）												
	（3）財務管理												
	（4）経営管理												
	（5）社会福祉施設長認定講座												
	（6）福祉職員キャリアパス対応生涯研修（上級管理者）												
5・6級	マネジメント												
	（1）リーダー育成												
	（2）労務管理の専門研修												
	（3）福祉職員キャリアパス対応生涯研修（管理者）												
	（4）資格取得講習会の機会												
	（5）チームマネジメント												
	（6）公益取組について												
	（7）人事労務管理研修												
	（8）労働基準法に関する基礎研修												
4級	リーダー研修												
	（1）利用者に優しい施設												
	（2）会議の基本と効果的な進め方												
	（3）OJTを効果的に行なうために												
	（4）入所施設の利用者様の変化とこれから												
	（5）障害者と支援組織のストレスマネジメント												
	（6）福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅）												
	（7）人事労務管理研修												
	（8）労働基準法に関する基礎研修												
	（9）福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）												
1・2・3級	新任職員研修												
	（1）OJT（定型業務の習得）												
	（2）新規採用職員研修（法人理念・服務規程）												
	（3）新規採用フォローアップ研修（4月入職者向け）												
	（4）福祉の職場のマナーの基本												
	（5）個別支援計画とケース記録（生活支援記録法）												
	（6）さまざまな支援上の記録の書き方												
	（7）障がい者虐待防止法の理解												
	（8）障がい者との関係の構築												
	（9）感染症対策(インフルエンザ、ノロウィルス、新型コロナ等)												
	（10）福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者）												

社会福祉法人みちのく福祉会

研修計画表

２．職能別研修

	研　修　名	開催月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職種別研修	事務職員研修												
	（1）ビジネスマナー研修												
	（2）来客・接遇応対向上研修												
	（3）社会福祉法人会計基礎・実務研修												
	（4）介護報酬請求事務												
	（5）コミュニケーション力向上研修												
	（6）労務管理研修												
	（7）その他												
	相談支援職員研修												
	（1）相談支援事業と支援と役割												
	（2）利用者面談レベルアップ研修												
	（3）障害区分認定調査研修												
	（4）相談支援現任者研修												
	（5）利用者面談レベルアップ研修												
	看護職員研修												
	（1）痰吸引指導者養成研修												
	（2）痰吸引指導看護師伝達研修												
	（3）医療的ケアコーディネーター養成研修												
	栄養士研修												
	（1）新人教育研修												
	（2）栄養士関係外部研修												
	（3）調理技能・技術研修												
	（4）災害時における食事の提供												

３．目的別研修

研　修　名	開催月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
社会福祉基礎研修												
（1）社会人マナー研修												
（2）障害の種類												
（3）社会福祉の基礎（区分・年金の種類・												
（4）リスクマネジメント												
（5）KYTトレーニング												
講習・外部研修												
防火管理講習												
安全運転管理講習												
リスクマネジジャー養成研修（日本知的障害者福祉協会）												
虐待防止研修（外部研修）												
普通救命救急（外部研修）												
医療的ケア児等支援者要請研修（外部研修）												

社会福祉法人みちのく福祉会

３．医療機関との連携

■当法人を利用されている入所成人施設においては高齢による事故や入院を伴う疾患が、以前より多く見られるようになり、医療機関にお世話になる機会が増加している。更には収束の兆しの見えない新型コロナウィルス感染症は集団生活をしている施設利用者にとっては大きな脅威である。
また、子ども発達支援センター等における医療的ケア児への支援及び高齢により医療的ケアが必要になってきた利用者に対しての支援体制の強化が重要な課題となってきている。

部　門	重　点　項　目
本部･障害･保育	法人内看護師との情報交換ミーティングの実地

【取組内容】　＊法人内看護師と情報交換のためのミーティングを実施し、関連する医療情報等について情報共有を図り、支援及び医療的ケアの質の向上につなげる。
＊利用者の高齢、重度化に伴い、利用者にとって望ましい環境で過ごせるように医療機関及び行政機関、他法人との連携を図っていく。
＊医療的ケアに関して医療機関及び行政機関と最新の情報を共有していく。
＊新型コロナウィルス対策とワクチン接種に関する事項への対応。

４．SDGs の推進及び既存の取組の強化

■社会福祉法人に求められている役割は何かを再確認し、地域の安心の実現、人権、貧困問題や環境問題等に関して身近にできる所から問題解決に取り組んでいく。

部　門	重　点　項　目
本部･障害･保育	SDG s （持続可能な開発目標：世界の未来を変えるための 17 の目標）の理解と推進。

【取組内容】　＊青森県社会福祉法人の社会貢献活動「青森県しあわせネットワーク」に参加法人として、他法人、行政機関、関係機関及びその他、異業種等も含めて情報共有を図り、制度の狭間の課題の解決に取り組む。
「総合相談⇒トータルサポート」「経済的援助⇒ライフサポート」
「食料等の提供⇒フードサポート」「就労体験・社会参加活動⇒ワークサポート」

Ⅳ．品質マネジメントの評価

■内部監査

品質マネジメントが適正に機能しているか確認するため、ＩＳＯ内部監査委員による内部監査を実施し、品質マネジメント向上の取組を行う。（1 月末～3 月末にかけて実施）

■外部監査

品質マネジメントが適正に機能しているか確認するため、外部審査を受審する。

【評価方法】　＊一搬社団法人 JET による審査⇒再認証審査（9 月～11 月に実施）
‣品質目標の進捗状況
‣事業計画書の基づく日常業務遂行状況の確認
‣内部監査の実施状況
‣購買先定期評価の確認等

障 害 部 門

障害者支援施設　陽幸園
障害者支援施設　しもきた療育園
生活介護事業所　すまいる
障害福祉サービス事業所　工房「歩み」
障害児入所施設　はまゆり学園
多機能型事業所　ちゅうりっぷ
こども発達支援センター　りりぃ
相談支援事業所　ぱれっと
グループホーム　陽まわり荘

障害者支援施設　陽 幸 園

● 個別支援計画を適切に運用し、サービスの質の向上に努めます。

運営方針
・法人理念に掲げる『寄り添い共にあり続けること』をもとに、どんな時もあきらめない姿勢を持ち、利用者の人権やその人の思いを大切にし利用者・保護者の満足度の向上を目指した質の高いサービスを提供します。 ・PDCA サイクルを展開し福祉サービスの担い手として求められる職業倫理や福祉サービスの価値基準を身につけ、あるべき姿・求められる役割を意識しながら支援の実践に取り組みます。
令和３年度品質目標
年　度　目　標
支援者がどのように支援したのか、その結果ニーズの充足感や満足感がどうだったかを振り返るために、個別支援計画を活用し、サービスの質の向上に努めます。
実　施　計　画
個別支援計画のサービス提供について １、アセスメントの実施→個別支援計画（原案の作成） 個別支援計画の作成後、個別支援計画に係る会議の開催 個別支援計画の原案について利用者、保護者に説明し同意を得る。 2、利用者への個別支援計画の実行 個別支援計画書の目標に対して支援内容を行いその様子や反応をケース記録に入力する。日々のケース記録をもとに月ごとのまとめを行う。 3、個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）６ヶ月以内に１回以上 支援経過をまとめ、支援の仕方、見直しについて評価し考察する会議を設ける。 →品質目標測定方法として ・品質目標実施計画報告書用のチェックシートを各担当が項目ごとに入力し提出する。（毎月実施） ・保護者に関しては進捗状況についての説明を面談や休暇連絡帳に記載してもらい満足度を調査する。（年２回）

重　点　目　標

（1）健康と安全なサービスの提供

〇新型コロナウィルスや感染症の予防のため毎日２回、施設内の消毒を実施します。手すりやドアノブなど使用が頻繁な場所については重点的に消毒し、職員はこまめに消毒できるように消毒液を携帯します。

〇新型コロナウィルスなど感染症に罹患しないように食前の手洗い・うがい・手指の消毒を確実に行うよう支援します。また、外出の際はマスクを着用し帰園後も消毒を行います。

〇健康面においては栄養スクリーニングを取り入れリスクの評価や栄養アセスメント・モニタリングを実施し生活習慣病の予防や肥満の改善に努め健康維持の増強を図ります。

〇嚥下機能の低下がみられる利用者にはソフト食やミキサー食を提供し誤嚥性肺炎の予防に努めます。また、食事量が摂れなくなった利用者については補助食品を提供し栄養低下を防ぎます。

(2) 利用者の意思、個人の尊重について

〇利用者個々が主体的・意欲的に取り組めるように課題や現状を整理しながら、適切なサービスを提供し目標が達成出来るように支援します。

〇意思疎通を図ることに支障がある場合でも、代理者･代弁者として支援する責務として利用者の権利、生活への要望など言葉以外の情報を含め利用者があるべき姿に近づくように最善を尽くします。

〇個別支援計画に利用者、保護者の意向を反映させ、目標の設定、サービス内容、支援方法、分担を文書で明示し本人、家族等に十分な説明を行った上でサービス提供を行います。

〇個別支援計画に基づいて利用者に対してサービス提供がされると共に支援経過をケース記録に残す。どのような内容のサービスが利用者に提供されたか確認し具体的なサービス提供手順とその結果を記録として残しサービスの内容を検証や見直しを行います。

(3) 権利擁護とリスクマネジメントの実践

〇施設内における虐待防止体制を意識する為、陽幸園職員の中で虐待防止委員会を設置し、不適切な支援やグレーゾーンに対して職員一人ひとりが虐待防止規定を理解すよう努めます。

〇合理的配慮については本人からの意思表示だけではなく意思表示の難しい利用者についても職員が支援するにあたり環境の整備が必要な場合は適切な対応に心がけます。

〇ヒヤリハット、是正報告書の作成について理解し、事前の予防と、万が一の出来事が発生した場合は早急に対応し、同じようなことが発生しないように、発生内容を改善する為の計画案に対しての効果の確認を徹します。

○個人情報の取り扱い及び、漏えい防止について職種にかかわりなく職員一人一人が認識し個人情報保護に努めます。

（4）職員役割と人材育成

○全職員は、法人理念や品質目標を理解し、福祉・障害サービス従事者として一般的な常識の範囲のマナーやルールを順守します。

○サポーターズカレッジを利用し園内研修を行い、いつでも最新の情報が視聴できるようになっている。また、テーマを決め研修の題材としても活用していきます。

○管理職員は支援業務の責任者として常に状況を適切に判断し、職員それぞれの目標の進捗状況と健康管理・ストレスチェック、労務管理を通じて広い視点を持ちながら組織をまとめあげていきます。必要な知識、技術取得の為、園内外研修プログラムの実践・研修計画を作成し一般職員の指導、リーダー職員育成の役割を行なう。適切な支援、利用者対応の最善の方法の見本となれるように日々、努力をします。

○リーダー職員及び一般職は、キャリアパスのそれぞれの役割を果たし、年度の目標設定を行い、

仕事の成果、仕事への取組み、姿勢のため支援に取組みます。そのために、福祉サービスの知識や技術の活用、コミュニケーション力、チームワークを日頃から意識し、今までと同じではなく、新しい行事企画や利用者の特性にあったグループ活動の展開をします。その際は利用者の笑顔や笑い声がある雰囲気づくりに努めます。また、自分の将来像、福祉観を意識しながら自身の技能・知識の向上を図ります。また、同僚・後輩職員に対してお互いにモチベーションを高めあい、チームケアを実践します。

○利用者の状況、身体機能の低下や病状の変化に対して、適切な支援をするため、各部門間の職員同士がコミュニケーションを図り、利用者一人ひとりに合わせた対応策を講じます。

（5）地域社会との連携、地域に対して取り組むこと

○地域福祉の担い手として、園内の様子や行事、職員研修などホームページ、広報誌など活用し情報公開に努める。地域に開かれたサービス事業所として、職員は専門的な知識や時代にあった技術を身につけ、地域に障害福祉を広報できる人材として職員一人ひとり意識を持って職務にあたります。

○利用者にとってより良いサービスの提供ができるように保護者及び関係機関・行政と良好な関係を築き、公益的な取り組みの一つとして『福祉ホーム』の運営にあたる。地域における多様な生活ニーズに対して福祉サービス事業所としての機能を活用しながら役割を果たすよう努めます。

令和3年度年間行事予定表

日＼月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		月＼日
1	木		土	春休暇	火		木		日		水		金		月		水		土	元旦↓	火		火		1
2	金		日	春休暇	水		金		月		木		土		火		木		日	↓	水		水		2
3	土		月	憲法記念日↓	木		土		火		金		日		水	文化の日	金		月	↓	木	節分	木		3
4	日		火	みどりの日↓	金		日		水		土		月		木		土		火	帰園日	金		金		4
5	月		水	こどもの日↓	土		月		木		日		火		金		日		水		土	Ｄｒ回診	土		5
6	火		木	春休暇	日		火		金		月	散髪日	水		土		月		木		日		日		6
7	水		金	帰園日	月		水		土		火		木		日		火		金		月		月		7
8	木		土		火		木		日	山の日	水		金		月		水		土		火		火		8
9	金		日		水		金	臨時会議（夏祭り）	月	振替休日	木		土		火		木		日		水		水		9
10	土		月		木		土		火		金	臨時会議（ようこうえん祭）	日		水		金		月	成人の日	木		木		10
11	日		火		金		日		水	夏祭り・帰省日	土		月		木		土		火		金	建国記念の日	金		11
12	月		水		土		月		木	↓	日		火		金		日		水		土		土		12
13	火		木		日		火		金	↓	月	健康診断 胃・大腸検診	水		土		月	散髪日	木		日		日		13
14	水	職員・利用者健康診断	金		月		水		土	↓	火		木		日		火		金		月	バレンタインデー	月	散髪日 ホワイトデー	14
15	木	骨密度検査	土		火	利用者会議レクレーション大会	木	誕生会	日	↓	水	十五夜	金	白百合保育園 さつまいもほり	月	散髪日	水		土		火		火		15
16	金		日		水		金		月	↓	木		土		火		木		日		水		水	慰労会	16
17	土		月		木		土		火	↓	金		日		水	誕生会	金		月	散髪日	木		木		17
18	日		火		金		日		水	帰園日	土		月	散髪日	木		土		火		金	誕生会	金		18
19	月	散髪日	水		土		月	散髪日	木	田名部祭り①	日		火		金		日		水		土		土		19
20	火		木		日		火		金	田名部祭り②	月	敬老の日	水		土	福祉展	月	散髪日	木		日	婦人芸能発表会	日		20
21	水		金	誕生会	月	散髪日	水	白百合交流会	土	利用者会議	火		木		日	福祉展	火		金		月	散髪日	月	春分の日	21
22	木		土		火		木	海の日	日		水		金		月		水		土	利用者会議	火	慰労会	火		22
23	金		日		水		金	スポーツの日	月	散髪日	木	秋分の日	土	利用者会議	火	勤労感謝の日	木		日		水	天皇誕生日	水		23
24	土	利用者会議	月	散髪日	木		土	利用者会議	火		金	誕生会	日		水		金	クリスマス会	月	散髪日	木		木	慰労会	24
25	日		火		金		日		水		土	利用者会議	月	散髪日	木	誕生会	土	利用者会議	火		金		金		25
26	月	散髪日	水		土	利用者会議	月	散髪日	木		日		火		金		日		水		土	利用者会議	土	利用者会議	26
27	火		木		日		火		金		月	散髪日	水		土	利用者会議	月		木	誕生会	日		日		27
28	水		金		月	散髪日	水		土		火		木	ようこうえん祭	日		火	帰省日・ルーム懇談会・全体会議	金		月	散髪日	月	散髪日	28
29	木	昭和の日	土	利用者会議	火		木	夏期大掃除	日	障害者スポーツ大会	水		金		月		水	↓	土				火		29
30	金	帰省日	日		水		金		月	散髪日	木		土		火		木	↓	日				水		30
31			月				土		火				日				金	↓	月				木		31

障害者支援施設　　しもきた療育園

● ご本人の個性・意思を尊重し、サービスの質の向上に努めます。

運営方針

１．園児・保護者の満足度向上を図ります。
２．地域との連携を継続します。
３．職員の資質向上と知識・技術の習得を目指します。
４．文書管理を徹底します。
５．法令・規則等による要求事項を順守します。

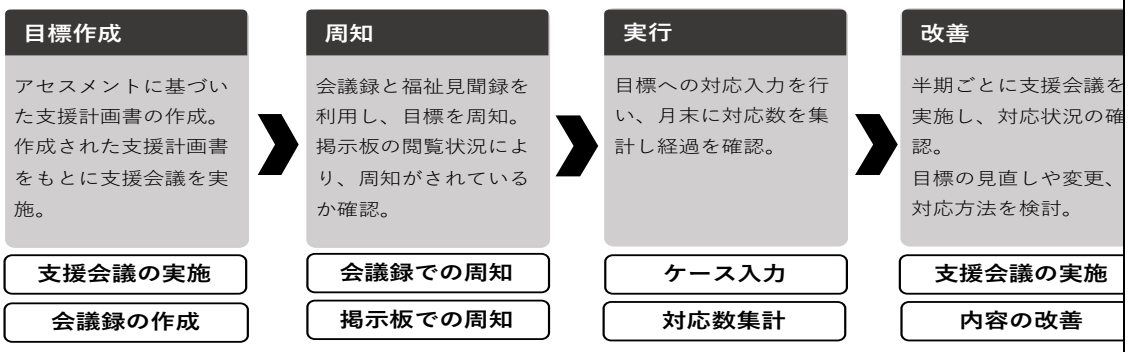
令和３年度品質目標

年　度　目　標

個別支援計画について支援内容を実施した経過、どのように利用者の生活が改善、維持できているのか可視化し、チームケアが出来るようになる。

実　施　計　画

個別支援計画について品質目標を掲げて３年目になるが、支援内容についての周知が支援会議や会議録、支援ミーティングを実施しているが浸透していない。支援計画の意味について、今一度しっかり見直す必要がある。
アセスメントに基づいた、個別支援計画・報告書の作成
障害受給者証有効に沿って年２回支援会議を実施。
担当職員が不在時でも目標への取り組みが出来るように追加で必要に応じて支援ミーティングを開催し、支援内容の手順や注意点や改善点など話し合う。
会議録回覧だけでは周知しきれないため福祉見聞録の掲示板活用。
目標への取り組みは他職員が関わった方が加点される数値目標にする。
支援会議進行は支援職員が行うことでどのような支援内容に取り組んでいくのか意識付けや責任について学ぶ機会とする。サービス提供責任者は進行状況をフォローする。



重 点 目 標

（１）利用者の意思、個性の尊重・権利擁護の視点　⇒利用者に興味、関心を持つ。

○認知機能低下及び健康問題について、医療機関や関係機関との連携を図り早期発見・早期治療を目指すと共に利用者が安全で楽しく、生きがいをもって健康維持・増進に向けた生活のあり方を対応していきます。

⇒利用者の日課見直し、活動内容再構築、体力づくり⇒歩行活動以外の運動の機会提供
生活習慣の見直し、慢性的な運動不足解消、健康寿命を延ばす
口腔衛生、嚥下機能低下防止、入れ歯、残歯ある方の定期歯科受診

○意思疎通を図ることに支障がある場合でも、代理者･代弁者として支援する責務として利用者の権利、生活への要望など言葉以外の情報を含め利用者がもっとも望むべきことに最善を尽くします。

⇒医療ケア必要時の判断についてご家族、本人の意志の確認
障害施設から老人福祉サービスへの移行について橋渡し
利用者の特性や性格、行動変容について把握をしながら支援方法の見直し

○個別支援計画に利用者、ご家族様の意向を反映させ、サービス内容が文書で明らかにされています。個別支援計画をもとに利用者に対して一貫しサービス提供がされると共に支援経過をケース記録に残し、どのような内容のサービスが利用者に提供されたか確認できます。
本人の意志決定への支援を行うとともに、家族等に十分な説明を行ったうえでサービス提供を行います。支援内容について、なぜそのような支援をするのか、対応の仕方があるのか説明します。

⇒支援目標に向かって取り組む支援内容について対応した結果や様子などケース入力を行い、支援内容を実施後どうなったのか考察します。
毎月のケースまとめ⇒支援会議２回⇒1 年取り組んだまとめ⇒新しい目標作成、
一連の流れを本人、ご家族、一緒に働いている職員へ説明します。

（２）リスクマネジメントの実践　安心、安全の保証

骨粗しょう症者 14 名　転倒によるケガ防止：見守りと事故早期防止の為福祉用具活用
新型コロナウイルス感染症、感染予防対策強化
業務体系見直し

○毎月の安全点検日を活用し、設備不備の発見、早期対応

○感染症など、リスクが発生することを予防する観点から、各手順書の作成、周知を行い、具体的なサービス提供手順とその結果を記録として残しサービスの内容の明確化に努めます。

⇒マニュアルの更新、周知　シュミレーション
朝食時間や夜勤時間など状態が乱れる利用者の対応について限られた人数で対応するため優先して行う業務の手順見直しを行います。勤務時間に見直し、やり方の工夫を実践します。
実際、感染症が発生した場合の初動や手順、ゾーニングの仕方の研修会を開催します。

⇒福祉用具活用
マッスルスーツやセンサーマットを導入し、利用者、支援者にとってより良い支援の仕方を作り上げます。

○ヒヤリハット、是正報告書の作成について理解し、事前の予防と、万が一の出来事が発生した場合は早急に対応することができるよう努めます。ヒヤリハット、是正報告書は必要に応じて写真添付し、事故発生時速やかに作成します。

⇒危険に関する認識を共通化し、利用者の特性から何が危ないことなのか、どこから介入するのか周知するためのロールプレイ⇒園内研修を実施します。

○法人虐待防止委員会設置にともない、施設内外における虐待防止体制の強化を図り、職員一人ひとりが虐待防止規定を理解し、福祉職業人としての役割を自覚し虐待防止に努めます。

○個人情報の取り扱い及び、漏えい防止について職種にかかわりなく職員一人一人が認識し個人情報保護に努めます。

（３）職員の共通認識、支援統一に向けて

全職員は、法人理念や品質目標を理解し、福祉・障害サービス従事者としてサービスの仕組み、一般的なマナーやルールを順守した上で職務に取り組むよう努めます。

○管理職員は業務執行の責任者として常に状況を適切に判断し、一般職員の育成とストレスチェック、労務管理を通じて広い視点を持ちながら組織をまとめあげます。必要な知識、技術取得の為、研修計画を作成し一般職員の指導、育成の役割を果たします。

⇒各職員に応じた研修会の開催

○一般職員は、「なぜこの職務をしているのか」を常に考えながら、職務のレベルアップに向けて何をするべきか、福祉職業人としての使命、役割を学び取りながら日々の支援にあたるよう努めます。一番利用者に近い存在で働く職員は何を期待されているのか、自分の将来像、福祉観を意識しながら自身の技能・知識の向上を図ります。

⇒今までのやり方、対応で問題がなければ、それは活かす。
やりづらいことはみんなで意見を出して試行錯誤しながら変えていく。
みんなに伝わるよう周知する。
受け取る側も理解しようとする姿勢で聞く

○日々の業務の中で、明らかに間違った事案である場合や自分と考え方が違う場合でも、むやみに職員の意見を否定しないよう意識共有に努めます。

⇒相手の意見に耳を傾け今何が最善なのか、誰もが意見、提案をしやすい環境作りを構築し、職員一人ひとりの成長を引き出し、みんなでより良い方向へ成長していく。
優しい気持ちがなければ人は成長しない。

○利用者の状況変化に適したサービス提供など確実に対応するため、各部門間の職員同士がコミュニケーションを図り、その時、必要な支援に柔軟に対応が出来るよう努めます。

⇒引継ぎ、掲示板活用、支援会議、職員会議に厨房、医務、事務参加

（４）地域社会との連携、地域に対して取り組むこと

○地域福祉の担い手として、園内の様子や行事、職員研修などホームページ、広報誌など活用し情報公開に努めます。

⇒利用者の園での生活状況や行事等の様子を家庭に知らせる為、通信誌として「あんど」を発行し各期休暇の都度配布します。
また、保育実習など学校機関と協力し実習の受け入れ、地域に開かれたサービス事業所として、職員は専門的な知識や時代にあった技術を身につけ、地域に障害福祉を広報できる人材として職員一人ひとり意識を持って職務にあたります。

○利用者にとってより良いサービスの提供ができるように保護者及び関係機関・行政と良好な関係を築き、多様な生活ニーズに対して福祉サービス事業所としての機能を活用しながら役割を果たします。

○むつ市より委託のある在宅生活者の緊急時に対応する「緊急一時保護機能」、重複障害者が利用できる生活介護事業を行い、日中の活動、生活を支えます。

（５）事務・経営体制について

・施設の運営管理は関係法令等を遵守し、事業計画及び諸規程にのっとり遂行します。法令等に改正があった際には、適時適正に関係規程等を見直を図ります。
・施設の運営及び利用者サービスを適切に行うため、施設内では職員の連絡・ 連携を密にし、施設外においては地域、関係機関との連携に努めます。
・予算の適正な執行をし、健全な財政運営に努め、会計基準に基づいた、適正な会計処理を図ります。
・入所定員充足の維持に努め、短期入所及び日中一時事業、生活介護事業の利用を積極的に受け入れます。また、施設収支状況を把握、光熱費･消耗品等の経費節減に継続して取り組みます。

2021年度　年間行事予定表

日＼月		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		月＼日
1	木	新年度活動説明	土		火		木		日		水		金		月		水		土	元旦	火		火		1
2	金	体重測定日	日		水		金		月		木		土		火		木		日		水		水		2
3	土		月	憲法記念日	木	体重測定日	土		火		金	体重測定日	日		水	文化の日	金	体重測定日	月	体重測定日	木	節分	木	ひな祭り	3
4	日		火	みどりの日	金		日		水		土		月	体重測定日	木		土		火		金	体重測定日	金	体重測定日	4
5	月		水	こどもの日	土		月	体重測定日	木	体重測定日	日		火		金	体重測定日	日		水		土		土		5
6	火		木	体重測定日	日		火		金	帰省日	月		水		土		月		木		日		日		6
7	水		金		月		水	七夕	土		火		木		日		火		金		月		月		7
8	木		土		火		木		日	山の日	水	生花	金		月		水		土		火		火		8
9	金		日		水		金		月	振替休日	木		土		火		木		日		水		水		9
10	土		月		木		土		火		金		日		水	茶道	金		月	成人の日	木		木		10
11	日		火		金		日		水		土		月		木		土		火		金	建国記念の日	金		11
12	月		水	生花	土		月		木	帰園日	日		火		金		日		水	茶道	土		土		12
13	火	健康診断	木		日		火		金		月		水		土		月		木		日		日		13
14	水		金		月		水	生花	土		火		木		日		火	理髪日	金	誕生会	月		月		14
15	木		土		火	理髪日	木		日		水		金		月		水		土		火	理髪日	火	理髪日	15
16	金		日		水		金	誕生会	月		木		土		火	理髪日	木		日		水		水		16
17	土		月	誕生会	木		土		火	理髪日	金	誕生会	日		水		金		月		木		木		17
18	日		火		金		日		水		土		月		木		土		火	理髪日	金		金	誕生会	18
19	月		水		土		月		木		日		火	理髪日	金	誕生会	日		水		土		土		19
20	火	理髪日	木		日		火	理髪日	金		月	敬老の日	水		土		月	帰省日	木		日		日		20
21	水		金	利用者会議	月		水	利用者会議	土		火	理髪日	木		日		火		金		月	園内点検日	月	春分の日	21
22	木		土		火		木	海の日	日		水		金		月		水		土		火		火	園内点検日	22
23	金	利用者会議	日		水		金	スポーツの日	月	園内点検日	木	秋分の日	土		火	勤労感謝の日	木	園内点検日	日		水	天皇誕生日	水		23
24	土		月	園内点検日	木		土		火	利用者会議	金	利用者会議	日		水		金	帰園日	月	園内点検日	木	利用者会議	木		24
25	日		火	理髪日	金	利用者会議	日		水		土		月	園内点検日	木	利用者会議	土		火	利用者会議	金		金	利用者会議	25
26	月	帰省日・総会	水		土		月	園内点検日	木		日		火	利用者会議	金	園内点検日	日		水		土		土		26
27	火	園内点検日	木		日		火		金		月	園内点検日	水	健康診断	土		月	クリスマス会	木		日		日		27
28	水		金		月	園内点検日	水		土		火		木		日		火	利用者会議	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土		火		木		日		水		金		月		水		土				火		29
30	金	帰園日	日		水		金		月		木		土		火		木		日				水		30
31			月				土		火				日				金		月				木		31

春期火災予防週間

清掃登山

家族レクリエーション

恵光園夏まつり
となみ療護園夏まつり

工房「歩み」
感謝際

第二白百合交流会

療育園夏祭り

ほほえみの集い

白百合招待交流会

秋期火災予防週間

おたのしみ会

ふれあい福祉展

自衛隊音楽会

婦人芸能発表会

慰労会

障害福祉サービス　生活介護事業所　　すまいる

● ご家庭との情報共有を大切にし、満足度 80%を目指します。

運営方針

利用者の意思及び人格を尊重し、健康でその人らしい生活を営むことができるように努めます。
また、利用者の自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図るとともにその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的としています。
支援を展開するにあたっては次のことを念頭におき、「また、すまいるへ行きたい」と思えるような施設づくりに取り組みます。

あせらず　・・・利用者の思いを尊重し結果を急ぐことなく
とまらず　・・・根気強く適切なサービスを継続し
ゆっくりと・・・コツコツ支援をし、できることの可能性を見出す

令和３年度品質目標

年　度　目　標

・支援振り返りチェックシートを活用し、個別支援計画に沿ってサービスが適切に提供されたか評価します。
・支援振り返りチェックシートを毎月記入し、自己評価８０%を目指します。

実　施　計　画

・アセスメントをとり、利用者個々のニーズや課題を整理する。
・利用者の意思を尊重し、又保護者とも個別面談や送迎時等、情報交換を密にし個別支援企画書を作成します。
・個別支援計画の経過を福祉見聞録へ記録する。
・毎月振り返りチェックシートを活用し、サービスが適切に提供されているか、支援の進捗度を見定めていきます。
・６カ月に１回以上モニタリングを実施し、個別支援計画の内容を評価、分析します。
必要に応じて内容の修正や変更を検討します。
・全利用者の個別支援計画の内容が記載されている一覧表を作成し支援の統一化を図ります。

重　点　目　標

（1）サービスの質の向上

・利用者の意思を尊重し、又保護者とも密に情報交換を行いながら個別支援計画を作成し、サービスを提供する。個別支援計画の経過は記録に残し、進捗度やサービスが適切に提供されているかを毎月の支援振り返りチェックシートで確認する。

・職員のスキル向上としてサポーターズ・カレッジを活用し、定期的に園内研修を実施する。

・様々な体験、経験を積むことを目的に、利用者又は保護者から要望を聞き、年１～２回社会資源を活用した活動をマンツーマンで行う。

（2）権利擁護とリスクマネジメント

・利用者一人ひとりの個性や主体性を尊重し、自己決定を基本とした支援を心掛ける。利用者が自由に意見を述べることができる環境をつくる。

・園内研修や外部研修を活用し、差別、虐待などの人権侵害の内容を理解し、その発生を防止する。

・リスク発生の阻止に努め、もしリスク発生の場合は最小化し、適切に対処できるよう日頃から訓練する。そのために、ヒヤリハット報告書を活用し事故に至りやすい状況を整理し、事故防止策を事前に検討する。

・個人情報の取り扱い及び、漏えい防止について職種にかかわりなく職員一人一人が認識し個人情報保護に努める。

（３）地域社会とのつながり

・ホームページや社会活動を通じて、利用者と地域とのつなぎ役となり、地域に開かれた事業所を目指す。また、地域住民が障がいのある方に関心を持ち、利用者やその家族が住みやすい環境になることを目指す。

令和３年度　　年間行事予定

日＼月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		月＼日
1	木		土		火		木		日	休　日	水		金		月		水		土	元　日	火		火		1
2	金		日	休　日	水		金		月		木		土	休　日	火		木		日	休　日	水		水		2
3	土	休　日	月	憲法記念日	木		土		火		金		日	休　日	水	文化の日	金		月	休　日	木		木		3
4	日	休　日	火	みどりの日	金		日	休　日	水		土	休　日	月		木		土		火		金		金		4
5	月		水	こどもの日	土	休　日	月		木		日	休　日	火		金		日	休　日	水		土	休　日	土	休　日	5
6	火		木		日	休　日	火		金	じゃがいも掘り	月		水		土		月		木		日	休　日	日	休　日	6
7	水		金		月		水		土		火		木		日	休　日	火		金		月		月		7
8	木		土		火		木		日	山の日	水		金		月		水		土		火		火		8
9	金		日	休　日	水		金		月	振替休日	木		土		火		木		日	休　日	水		水		9
10	土	すまいる会役員会	月		木		土	休　日	火		金	納涼祭	日	休　日	水		金		月	成人の日	木		木		10
11	日	休　日	火		金		日	休　日	水		土	休　日	月		木		土	休　日	火		金	建国記念の日	金		11
12	月		水		土	休　日	月		木		日	休　日	火		金	すまいるフェスティバル	日	休　日	水		土		土	休　日	12
13	火		木		日	休　日	火		金		月		水		土	休　日	月		木		日	休　日	日	休　日	13
14	水		金		月		水		土	休　日	火		木		日	休　日	火		金		月	バレンタインデー	月	ホワイトデー	14
15	木	健康診断	土	休　日	火		木		日	休　日	水		金		月		水		土		火		火		15
16	金		日	休　日	水		金	バーベキュー	月		木		土	休　日	火		木		日	休　日	水		水		16
17	土	休　日	月		木		土	休　日	火		金		日	休　日	水		金		月		木		木		17
18	日	休　日	火		金	親子レクリエーション	日	休　日	水		土		月		木		土	休　日	火		金		金		18
19	月		水		土	休　日	月		木	田名部まつり見学	日	休　日	火		金		日	休　日	水		土	休　日	土		19
20	火		木		日	休　日	火		金	田名部まつり見学	月	敬老の日	水		土		月		木		日	休　日	日	休　日	20
21	水		金	菜の花見学	月		水		土	休　日	火		木		日	休　日	火		金		月		月	春分の日	21
22	木		土		火		木	海の日	日	休　日	水		金		月		水		土	休　日	火		火		22
23	金	すまいる会総会	日	休　日	水		金	スポーツの日	月		木	秋分の日	土	休　日	火	勤労感謝の日	木		日	休　日	水	天皇誕生日	水		23
24	土	休　日	月		木		土		火		金		日	休　日	水		金	クリスマス会	月		木		木		24
25	日	休　日	火		金		日	休　日	水		土		月		木		土		火		金		金		25
26	月		水		土	休　日	月		木		日	休　日	火		金		日	休　日	水		土		土	休　日	26
27	火		木		日	休　日	火		金		月		水		土	休　日	月		木		日	休　日	日	休　日	27
28	水		金		月		水		土		火		木		日	休　日	火		金		月		月		28
29	木	昭和の日	土		火		木		日	休　日	水		金		月		水	すまいる納め	土				火		29
30	金		日	休　日	水		金		月		木		土		火		木	休　日	日	休　日			水		30
31			月				土		火				日	休　日			金	休　日	月				木		31

障害福祉サービス事業所　工房「歩み」(就労継続支援Ｂ型)

●「働きたい」を計画性・継続性をもって支援し、活躍の場を創出します。

運営方針

① 利用者やその家族の思いに寄り添い、労働を通じて共に働き、共に生き、地域社会の中で一人一人が個性豊かに輝く生活を送るため、地域とつながり優しさ広がる共生社会の実現を目指します。

② 感染対策や非常災害対策を徹底し、誰もが安心して利用できる施設運営を目指します。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

◎毎月の売上目標を達成し、年間売り上げ 23,370,000 円を目指します。

○各部署の無駄な経費を圧縮・削減するとともに『夏秋いちごのマドレーヌ』の安定した生産と売り上げ向上、加工工房所員の清掃スキル向上に重点的に取り組みます。

○クリーン部内部実習の機能を充実・活性化させ、清掃作業への取り組みを強化します。

※パン工房 - 年間売上目標 - 10,630,000 円

販路開拓。イベント参加、新商品開発、人材育成及び人員確保、生産計画の立案と実行

※加工工房 - 年間売上げ目標 - 4,892,000 円

新規作業科目の創出、施設外就労の維持・継続、清掃作業のスキル向上

※クリーン部 - 来館者・来庁者・職員・依頼主からのクレーム・事故・怪我発生時は是正処置報告を行うとともに、3ヶ月間毎月トレースし、業務報告をすることで再発防止・業務改善に努めます。

実　施　計　画
【各メンバーの役割分担】 ・施 設 長：統括・管理・全体把握 ・推進委員：目標達成に向けた進捗状況の確認・実施報告書の作成 ・全職員　：1)部署毎のミーティングで毎月の売上額について各職員が進捗状況を把握。 職員会議の中で活発な議論を重ねることで課題を明らかにし、次月に向けた取り組みについて検討。 2)作業の手順ミスや作業態度、お客様対応においての問題の有無等、毎月２度実施する作業確認日の中で所員が自己評価を行い、職員との個別面談のもと、互いに状況を確認。 3)内部実習の進捗状況を確認。

重 点 目 標
（1）支援方針の共有と就労支援の充実 ・利用者個々のストレングスやエンパワメントの視点を持ち、特性に応じた能力を作業場面で発揮できるよう、作業時間、作業内容を工夫し、工程を徹底的に分解することで『出来ること』を集積し大きな力へ変えていくとともに、主体性・選択性・自己決定を尊重します。 ・定期的なアセスメントとモニタリングにより、利用者のニーズを捉え、本人及び家族の声なき声にも耳を傾け、思いを具現化できるよう、相手に寄り添った個別支援計画を提案し、サービスを提供していきます。 ・毎月の作業支援シートによる評価を基準に、年２回の工賃会議を実施。作業スキルや作業に対する関心・意欲・態度・集中力を考慮し、能力に応じた工賃が支給出来ているか、その妥当性について検討します。工賃アップに必要なスキルや求められる能力の確認、必要とされる課題を抽出し、個別支援計画と連動しながら、利用者とその家族に対し、懇切丁寧に説明を行います。 ・一般就労への移行を促進させる為、地域関連機関との連携及び職場開拓、一般就労達成に向けた活動計画を立案します。就職後は職場定着に向けたフォローアップを実施します。 ・清掃部門による施設外就労の継続を見据えた利用者様の育成を図ります。 ・安定した作業提供が出来るよう、新たな事業展開を継続的に模索します。 ・他機関や他事業所と連携し、地域・行政を巻き込んだ工賃向上を狙いとする協議会へ参画します。 ・前年度以上の売り上げを実現し、更なる工賃向上による経済的側面からのサポートにより、より豊かで自立した生活へと前進。 ・一般就労への移行を促進させる為、就労に必要な準備支援・職場体験実習・内部実習・求職活動等、意向を確認しながら随時助言し、地域関連機関との連携及び職場開拓、一般就労達成に向けた活動計画を立案。就職後は職場定着に向けたフォローアップを実施する。 ・清掃部門を強化し、施設外就労の継続を見据えた人材の育成と、加工工房清掃部門に携わる利用者のスキルアップを図る。

・安定した作業提供が出来るよう、新たな事業展開を継続的に模索する。
・他機関や他事業所と連携し、地域・行政を巻き込んだ工賃向上を狙いとする協議会への参画。
・地域生活において困難さを抱えている方をサポートする社会貢献活動の一つとして、しあわせネットワークによる就労体験希望者の積極的な受け入れ。

２）工賃向上に向けた取り組み

〇マーケティング力の強化

・ホームページの積極的な活用による広報活動を行い、お客様が知りたい情報をタイムリーに発信します。
・広報誌やチラシの配布、イベント時における販売により地域への PR 活動を行います。
・納品先、取引先からのアンケート、顧客や市場の調査をします。
・時代の流れをキャッチし、地域の求める作業や商品の創出に努めます。
・品質の追求、ブランディング、作業技術の知識を習得、スキル向上、継承します。
・新商品開発、新作業創出、商品入れ替え、作業科目及び取引先の整理をします。

〇利益管理

・作業別、カテゴリ別の原価率と利益率の把握をします。
・無駄な経費を削減及び圧縮し、安定した収益確保に臨みます。

〇職員意識・業務効率

・各部門のリーダーと、それに関わる全職員の当事者意識の向上に努めます。
・作業マニュアル化による知識の共有と、業務内容の統一性の強化を図ります。
・納期の順守、品質レベルの保持増進に努めます。
・ＡＨＡＣＣＰ(青森ハサップ)を軸とした食品安全自主管理システムを遵守し、チームとしての連携力を促進します。
・独立してＰＤＣＡをまわせる、自立した人材育成に努めます。

（３）職員規範

・法人理念や品質目標を全職員が理解し、「なぜこの仕事が必要なのか」「誰の為の何なのか」を常に意識することで、業務を作業として扱わず、心の入った業務に取り組みます。
・サービス提供を図る上で必要な支援力の向上を目指し、不適切な対応とならないよう SDS チェック表を自身の振り返りや互いの牽制機能として有効活用していきます。
・フィードバック、情報共有、スキル・知識向上を目指す為の外部研修参加及び伝達研修、サポーターズカレッジを活用した内部研修を定期的に開催します。
・社会福祉法人みちのく福祉会の一員であることに対しての誇りと責任を持ち、高い公益性をもって事業運営に携わっていくことへの必要性を自覚し、コンプライアンスに努めます。
・目標とする事業活動収益を達成し、健全なる事業運営を目指します。

★就労系事業所における主役は『工賃を得たい』『得意な作業がしたい』『充実した日々の生活を送りたい』という様々な思いを持って事業所に通ってくる利用者です。
『働きたい』という気持ちを後押しし、活躍出来る場を創出することで、他者から認められ自分の存在を喜んでもらえるような幸福感を感じられるよう、我々職員はその舞台の共演者として微力ながらサポートさせていただきます。共に喜びを分かち合い、だれ１人として置き去りにすることなく、利用者自身が世の光として輝く社会を実現させていくことこそが、工房「歩み」の最終的使命と考えます。
これまでは足りない何かを補う役目が福祉だったのかもしれません。しかし、これからは「寄り添い、共にあり続けること」でやさしさが地域全体に広がり、誰もがキラキラと輝けるような半島づくりを目指していきます！

2021年度年間行事予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	木 **解剖記念日（21年目）**	土 AM：作業 PM：ホームステーション	火	木	日 休日	水	金	月	水	土 休日　元日	火 実績確認会議資料提出	火	1
2	金	日 休日	水	金	月	木	土 休日	火	木	日 休日	水	水	2
3	土 休日	月 休日　憲法記念日	木	土 AM：作業 PM：ホームステーション	火	金 **歩みの会懇親会**	日 休日	水 休日　文化の日	金	月 休日	木	木	3
4	日 休日	火 休日　みどりの日	金	日 休日	水	土 AM：作業 PM：ホームステーション	月	木	土 AM：作業 PM：ホームステーション	火 **仕事始め**	金 **実績確認会議・支援会議**	金	4
5	月	水 休日　こどもの日	土 休日	月	木	日 休日	火	金	日 休日	水	土 休日	土 休日	5
6	火	木	日 休日	火	金 **陣幕餅納涼祭**	月	水	土 AM：作業 PM：基本測定	月	木	日 休日	日 休日	6
7	水	金	月	水	土 AM：作業 PM：歩みの日	火	木	日 休日	火	金 工員日	月	月	7
8	木	土 AM：作業 PM：地域清掃	火	木 航空隊販売	日 休日　山の日	水 航空隊販売	金 工員日	月	水 航空隊販売	土 AM：作業 PM：基本測定	火	火	8
9	金 **工員日** **歩みの会役員会**	日 休日	水 航空隊販売	金 工員日	月 休日　敬老休日	木	土 休日	火	木	日 休日	水 航空隊販売	水 航空隊販売	9
10	土 休日	月 工員日	木 工員日	土 休日	火 工員日	金 工員日	日 休日 **ハロウィンイベント**	水 工員日 航空隊販売	金 工員日	月 休日　成人の日	木 工員日	木 工員日	10
11	日 休日	火	金	日 休日	水 航空隊販売	土 休日	月 作業支援シート提出日	木	土 休日	火	金 休日　建国記念日	金	11
12	月	水 航空隊販売	土 休日	月 相談システム	木	日 休日	火	金	日 休日	水 航空隊販売	土 AM：作業 PM：基本測定	土 休日	12
13	火	木	日 休日	火	金	月 相談システム	水 航空隊販売	土 休日	月	木	日 休日	日 休日	13
14	水 航空隊販売	金	月 相談システム	水 航空隊販売	土 休日	火	木	日 休日	火	金	月 相談システム 計画会議資料提出	月 相談システム	14
15	木 避難訓練	土 **バーベキュー**	火 **ふれあいバザール**	木 避難訓練	日 休日	水	金	月 相談システム	水	土 AM：作業 PM：ホームステーション	火 **ふれあいバザール**	火 **ふれあいバザール**	15
16	金 **歩みの会総会**	日 休日	水	金	月 相談システム	木	土 作業日 **大畑商工祭り①**	火 **ふれあいバザール**	木 避難訓練	日 休日	水	水	16
17	土 休日	月 相談システム	木 避難訓練	土 AM：作業 PM：歩みの日	火	金 避難訓練	日 休日 **大畑商工祭り②** **田名部中学校バザー**	水	金 **歩みの会懇親会**	月 相談システム	木 避難訓練	木 避難訓練	17
18	日 休日	火 **ふれあいバザール**	金	日 休日	水	土 **第20回** **工房「歩み」感謝祭**	月 相談システム	木 避難訓練	土 AM：作業 PM：基生活支援の日	火 **ふれあいバザール**	金 **給食・職員・支援会議** **次年度計画会議**	金	18
19	月 相談システム 作業支援シート提出日	水	土 休日	月	木 避難訓練	日 休日	火 **ふれあいバザール**	金 **内科検診②**	日 休日	水	土 休日	土 休日	19
20	火 **ふれあいバザール**	木 避難訓練	日 休日	火 **ふれあいバザール**	金	月 休日　敬老の日	水	土 休日	月 相談システム GH1号館打合せ	木 避難訓練	日 休日	日 休日	20
21	水	金	月	水 **給食・職員・支援会議**	土 休日	火 **ふれあいバザール**	木 避難訓練	日 休日	火 GH2号館打合せ	金	月 GH1号館打合せ	月 休日　春分の日	21
22	木 **給食・職員・支援会議** **工員会議**	土 作業日	火 **内科検診①**	木 休日　海の日	日 休日	水 航空隊販売	金 **給食・職員会議** **上期生産活動会議** **工賃会議**	月 GH1号館打合せ	水 航空隊販売	土 作業日	火 GH2号館打合せ	火	22
23	金	日 休日	水 航空隊販売	金 休日　スポーツの日	月 GH1号館打ち合わせ	木 休日　秋分の日	土 休日	火 休日　勤労感謝の日	木 **給食・職員・支援会議**	日 休日	水 休日　天皇誕生日	水 航空隊販売	23
24	土 AM：作業 PM：基本測定	月 GH1号館打合せ	木 **給食・職員・支援会議**	土 休日 となみ療護園夏祭り 楽市楽座	火 GH2号館打合せ	金 **給食・職員・支援会議**	日 休日	水 航空隊販売 GH2号館打合わせ	金 上期手当支給日	月 GH1号館打合せ	木	木 **給食・職員会議** **事業計画確認会議**	24
25	日 休日	火 GH2号館打合せ	金 決算手当支給日	日 休日 **婦人体育まつり**	水 航空隊販売	土 休日	月 GH1号館打合せ	木 **給食・職員・支援会議**	土 AM：作業 PM：大掃除	火 GH2号館打合せ	金	金	25
26	月 GH1号館打合せ	水 航空隊販売	土 休日	月 GH1号館打合せ	木 **給食・職員・支援会議**	日 休日	火 GH2号館打合せ	金	日 休日	水 航空隊販売	土 AM：作業 PM：ホームステーション	土 **職労会**	26
27	火 GH2号館打合せ	木 **給食・職員・支援会議**	日 休日	火 GH2号館打合せ	金	月 GH1号館打合せ	水 航空隊販売	土 作業日 **ふれあい福祉展①**	月	木 **給食・職員・支援会議**	日 休日	日 休日	27
28	水 航空隊販売	金	月 GH1号館打合せ	水 航空隊販売	土 AM：作業 PM：レクリエーション	火 GH2号館打合せ	木	日 休日 **ふれあい福祉展②**	火 **仕事納め**	金	月	月 GH1号館打合せ	28
29	木 休日　昭和の日	土 AM：作業 PM：基本測定	火 GH2号館打合せ	木	日 休日 **障がい者スポーツ大会**	水	金	月	水 休日	土 **2022年 工房「歩み」** **新年会（グランドホテル）**		火 GH2号館打合せ	29
30	金 **定期健康診断**	日 休日	水	金	月	木	土 AM：作業 PM：地域清掃	火	木 休日	日 休日		水	30
31		月		土 AM：作業 PM：基本測定	火		日		金 休日　元旦	月		木	31

下北地域広域行政事務組合
障 害 児 入 所 施 設　　はまゆり学園

●児童の将来に向けた“育ち”のステップを、ご家族と連携し支援します。

運営方針
児童入所施設として、地域から求められている責務を果たす為、３つの考えを基本に施設を運営する。 【子ども達の育ちを支え、ひとりの人間として生きる権利を守る】 【定められた法令を順守し、施設の健全運営を目指す】 【求められている情報を公開し、積極的に地域との連携を図る】
令和３年度品質目標
年　度　目　標
・職員それぞれが自己啓発に取り組み、業務に関連する能力・知識を身に付ける。
実　施　計　画
サポカレを受講し業務に関連する知識を身に付け実践する。 →Ｗｅｂ講義を視聴し、実践及び効果、確認を行う。 →アンケート用紙へ記入する。 ※月毎に行うサポカレは職員それぞれが講義を自由に選択し受講する。 年に４回（５月、８月、１１月、２月）は職員が合同で共通の講義を受講する。

【活動スケジュール】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
自由課題	視聴	視聴	視聴 効果、確認(4月)	視聴 効果、確認(5月)	視聴 効果、確認(6月)	視聴 効果、確認(7月)
共通課題		合同視聴			合同視聴	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自由課題	視聴 効果、確認(8月)	視聴 効果、確認(9月)	視聴 効果、確認(10月)	視聴 効果、確認(11月)	効果、確認(12月)	効果、確認(1月)
共通課題		合同視聴			合同視聴	まとめ

重 点 目 標

（1）　個別支援を強化する

・児童のより良い社会生活を目指し、ニーズに応えると共にその特性に合わせたサービス提供をするためインテイクからアセスメントまで繋がるよう計画的に進め細分化して目標を設定する。

① アセスメント様式を変更し、児童の課題分析の精度を高める。

② アセスメントから児童の課題を抽出、本人の求める社会生活を能力に合わせた目標で設定し、児童がひとつひとつ「できた」と実感できるよう計画的にサポートしていく。

③ 本人や家族、学校と相談し、本人を中心としたサポートをする。

（2）　移行支援を強化する

・移行を控える児童に対して、移行先の生活を見据えた目標を設定しサービス提供、移行後の生活をイメージし、必要な学習・実践をする。

① 移行先と連携し、実習評価で受けた課題に対し取り組んだ支援評価を報告し合いスキルアップを図ることと、事業所間が情報共有することで本人が不安を軽減できる体制をとる。

② 移行してから３ヶ月に一度を２回程度の訪問をし、本人との面会を通し意向や相談を聴取し必要に応じて関係機関へ繋げる。

③ 本人や家族、学校と相談し、本人を中心としたサポートをする。

（3）　児童を中心に支える支援をするため保護者と連携する

・児童を養育する保護者や関係者が関われるよう学園と関係機関で連携していく。

① 社会生活に向けてキーパーソンとなる保護者や関係者と面談し意向の確認や課題の抽出と分析からトータル支援で将来像に向けて連携する。

（４）　安心、安全、信頼される施設を目指す

・利用者一人ひとりの人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったニーズに応じた支援サービスに努める。

・児童に誠実に向き合い、保護者に安心感を与えられるように、職業人としてマナーやルールを順守する。

・関係法令を順守し、信頼される施設運営をおこなう。

（５）　技能向上

・利用者の特性を理解し、適切なサービスを提供するため職場研修の充実を図り、多様な障害に対応できる専門知識の習得、職員のスキルアップを図る取り組みを積極的に行う。また、スーパービジョンの体制を強化し、対応能力の向上に努める。

① 障害特性について支援方法の勉強会を年度計画を作成し実施する。

② 学習会後に検討会議を実施し、児童の抱えている課題への気づきの視点や視野を広げるような働きかけをしていく。

令和3年度年間行事予定表

※緑字は学校行事、青字は学園行事、網掛け部分は学校休業日です。

日	月	4	5		6		7		8		9	
1	木	辞令交付式 居室編成替え	土		火	運動会合同練習	木	学校公開	日		水	
2	金		日		水	運動会合同練習	金	四半期全体会議	月		木	中学部修学（中）
3	土		月	憲法記念日	木		土		火		金	中学部修学旅行
4	日		火	みどりの日	金	運動会総練習	日		水		土	中学部修学旅行 就労・生活ネット
5	月		水	こどもの日	土	運動会	月		木		日	
6	火		木		日		火		金		月	
7	水	入学式・始業式	金		月	振替休日	水		土		火	
8	木		土		火		木		日	山の日	水	
9	金		日		水		金		月	休日	木	
10	土		月		木		土		火		金	
11	日		火		金		日		水		土	
12	月		水		土		月		木		日	
13	火		木		日		火		金		月	
14	水		金		月		水		土		火	
15	木		土		火		木		日		水	高等部修学（高）
16	金		日		水		金	参観日・終業式	月		木	高等部修学旅行
17	土		月		木		土	夏祭り	火		金	高等部修学旅行
18	日		火		金		日		水	田名部祭り見学	土	
19	月		水		土		月		木		日	
20	火		木		日		火		金		月	敬老の日
21	水		金		月	高等部2年実習	水		土		火	
22	木	職員健康診断	土		火		木	海の日	日		水	
23	金		日		水	宿泊学習(中等部)	金	スポーツの日	月	始業式	木	秋分の日
24	土		月		木	宿泊学習(中等部)	土		火		金	
25	日		火		金		日	学校親子レク	水		土	
26	月		水		土		月		木		日	
27	火		木		日		火		金		月	
28	水		金		月		水		土		火	
29	木	昭和の日	土		火		木		日	障害者スポーツ大会	水	
30	金	参観日 父母の会総会	日		水		金		月		木	
			月				土		火			
		春季大掃除						夏季大掃除				

日	月	10		11		12		1		2		3	
1	金	参観日・父母学習会	月		水		土	元旦	火		火	
2	土		火		木		日	初詣	水		水	
3	日		水	文化の日	金		月		木		木	退園児を送る会
4	月	四半期全体会議	木		土		火		金	参観日・面会日	金	
5	火		金		日		水		土		土	
6	水		土		月		木		日		日	
7	木		日		火		金		月		月	
8	金		月		水		土	新年を祝う会	火		火	
9	土		火		木	大湊演奏艦賞会	日		水		水	
10	日		水		金		月		木		木	
11	月		木		土		火	成人の日	金	建国記念日	金	卒業式
12	火		金		日		水		土		土	
13	水		土	学習発表会	月		木	始業式	日		日	
14	木		日		火		金		月		月	
15	金		月	振替休日	水		土		火		火	
16	土	親子バス遠足	火		木		日		水		水	四半期全体会議 全体会議
17	日		水		金	終業式	月		木		木	
18	月		木		土	お楽しみ会	火		金		金	
19	火		金		日		水		土		土	
20	水		土		月		木	四半期全体会議	日		日	
21	木		日		火		金		月		月	春分の日
22	金		月		水		土		火		火	
23	土		火	勤労感謝の日	木		日		水	天皇誕生日	水	
24	日		水		金		月		木	入学選抜	木	
25	月		木		土		火		金		金	修了式・離任式
26	火		金		日		水		土		土	春休み
27	水		土		月		木		日		日	
28	木		日		火		金	学校展	月		月	
29	金		月		水		土				火	
30	土		火		木		日				水	
31	日				金		月				木	
						冬季大掃除						

放課後等デイサービス　キッズすまいる

● 子どもたち一人ひとりがキラリと輝くためのサービスを提供します。

運営方針

児童通所施設として、児童、保護者様から求められている責務を果たすため、３つの考えを基本に子どもたち一人ひとりがキラリと輝くためのサービスを提供します。

【早期療育支援を必要とする児童に対し、一人ひとりの人権を尊重し、育ちをサポートします】
【定められた法令を遵守し、施設の健全な運営を目指します】
【児童及びそのご家族、地域との連携を図ります】

令和３年度品質目標

年　度　目　標

個別支援計画書に関わる詳細な記録を取ることで、支援内容の向上及び支援力の向上につなげ、総合的な個別支援の充実を図ります。

実　施　計　画

○日々の活動(個別活動、集団活動、行事活動等)、または日常の中で、個別支援計画書の目標に関わる支援を実施し、ケース記録にまとめます。
○日々ケース記録に入力することで、支援の振り返りを行ない、月末に個別支援計画書の進捗状況を確認・整理し、翌月への支援内容に反映させるよう努めます。
○年２回のモニタリング(支援会議)の際に児童の目標達成状況の確認を全職員で行ない、個別支援の充実に繋げます。

実 施 方 法

【支援員】
○ケース記録へ取り組み状況、月末に進捗状況についてまとめ、翌月に反映できるよう記入し提出します。

【児童発達支援管理責任者】
○ケース記録、支援実施状況の確認。支援員へのアドバイスを行ないます。

重 点 目 標

【１】サービスの質の向上

○児童一人ひとりの特性、個性を全職員が理解し、十分に人権を尊重した上で『やさしさ』をもち適切なサービスを提供する為、支援に取り組みます。

○障害の種別にとらわれるのではなく、一人ひとりがまだ成長段階、発達段階の児童である事に気づき、ゆっくりと穏やかな気持ちで支援に取り組みます。

○『キッズすまいる』の名の通り、１日の終わりは笑顔で帰宅し、またキッズすまいるに通いたいと思ってもらえるよう支援に取り組みます。

【２】保護者様との信頼関係の構築

○保護者様が安心して自分の子どもを預けられるよう、毎日の連絡帳記入、送迎時申し送り、必要な場合は電話連絡、個別面談等で保護者様への報告・連絡・相談を密に行ないます。

○保護者様より意見・要望があった際は施設長を始め全職員へ必ず周知し、お互い共感をもち、検討結果の詳細を確実に行ない、理解して頂けるよう努めます。

○施設内、施設周辺の環境整備や送迎車を綺麗に保つ事を心掛け、保護者様に清潔なイメージを持ってもらえるような施設運営を行ないます。

【３】職員のスキルアップを図る

○外部研修への参加を通して学んだ事は全職員へ伝え、継続的に日々の支援に活かせるよう充実した内部研修を実施します。

《研修計画》

研　修	主　催	研　修　名	実　施　月
外部研修	各関係機関	自閉症・障害児支援に関する研修　等	随　時
内部研修	Web 研修システム (サポーターズカレッジ)	障害児支援、発達障害の見立てと支援　等	毎　月

令和3年度　年間行事予定表

日＼月		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		月＼日
1	木	歓迎会	土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土	休日	火		火		1
2	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		2
3	土	休日	月	憲法記念日	木		土	休日	火		金		日	休日	水	文化の日	金		月	休日	木	節分	木	桃の節句	3
4	日	休日	火	みどりの日	金		日	休日	水		土	誕生会	月		木		土		火	初詣	金		金		4
5	月		水	こどもの日	土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	5
6	火		木		日	休日	火		金		月		水		土		月		木		日	休日	日	休日	6
7	水	むつ養入学式	金		月		水	七夕	土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月	休日	7
8	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土	キッズ新年会	火		火		8
9	金		日	休日	水		金		月		木		土	休日	火		木		日	休日	水		水		9
10	土	休日	月		木		土		火	キッズ夏祭り	金		日	休日	水		金		月	成人の日	木		木		10
11	日	休日	火		金		日	休日	水	山の日	土	休日	月	スポーツの日	木		土		火		金	建国記念日	金		11
12	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	12
13	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	13
14	水		金		月		水		土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月		14
15	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土		火		火		15
16	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		16
17	土		月		木		土	）	火		金		日	休日	水		金		月		木		木		17
18	日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	月		木		土	休日	火		金		金		18
19	月		水		土	休日	月	海の日	木	田名部祭見学	日	休日	火		金		日	休日	水		土		土	休日	19
20	火		木		日	休日	火		金		月	敬老の日	水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	20
21	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火		金		月		月	春分の日	21
22	木		土	休日	火		木		日	休日	水		金		月		水		土	休日	火		火		22
23	金		日	休日	水		金		月		木	秋分の日	土	休日	火	勤労感謝の日	木		日	休日	水	天皇誕生日	水		23
24	土	お花見	月		木		土	スポーツの日	火		金		日	休日	水		金		月	休日	木		木		24
25	日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	月		木		土	クリスマス会	火		金		金		25
26	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土		土	誕生会	26
27	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	誕生会	月		木		日	休日	日	休日	27
28	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火	キッズ納め	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土	誕生会	火		木		日	休日	水		金		月		水	休日	土	誕生会			火		29
30	金		日	休日	水		金	誕生会	月		木		土	ハロウィン	火		木	休日	日	休日			水		30
31			月				土	休日	火				日	休日			金	休日	月	休日			木		31

多機能型事業所　ちゅうりっぷ

● 家庭的な雰囲気を大切に、心豊かな成長を育むように支援します。

運営方針

ちゅうりっぷの花言葉　『思いやり』

◎私達は利用して頂く全ての方に、次に掲げる事項に気を付け支援致します。

『思いやりを持って接します』

『心を込めて接します』

『情熱を持って愛情を注ぎます』

ちゅうりっぷでは新たに生活介護を実施する事になりましたので、【未就学児⇒学齢期⇒青年期⇒壮年期】とライフステージが移り変わっても、切れ目なく一貫した支援を提供する事が出来ます。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

予定表に定めた項目について利用者・保護者の満足度を調査し、より良いサービス提供体制を整え、楽しく通える事業所を目指します。

実　施　計　画

●調査項目予定表

４月 入浴に関する事	５月 活動に関する事	６月 送迎に関する事	７月 季節行事に関する事	８月 給食に関する事	９月 上半期まとめ
10月 入浴に関する事	11月 活動に関する事	12月 送迎に関する事	１月 給食に関する事	２月 季節行事に関する事	３月 年間まとめ

P（計画）…　利用者のニーズと障害特性を考慮し支援計画を立案。また、保護者の要望も随所に取り入れた事業所運営を計画。

D（実行）…　各計画に基づき支援、事業所運営を実施。楽しく通える事業所を意識して業務にあたる。

C（評価）…　予定表の通り、利用者・保護者に対して満足度調査を実施。改善点を明確にする。

A（改善）…　満足度調査の結果をもとに、改善案を毎月の職員会議で共有し、以降の業務に反映させる。

重 点 目 標

① 肢体不自由という障害についての知識を深めるとともに、年齢に応じて障害はどのように変わり、どのような専門的な支援を提供すべきか学習します。

② 新型コロナウイルスをはじめとする様々な感染症や自然災害、その他日常の危険から子ども達を守る為、事業所における安全管理体制を整えます。

③ 業務を見直し、経費の削減に努めます。また、制度を理解し、該当する加算を適切に算定します

サービス重点事項	
【生活介護】	
○個別活動	・放課後等デイサービスや学校から引き継いだ活動をベースにおこないます。（学習、動作法訓練等）、また、年齢とともに変化するニーズや身体の状態に 応じて、適切な活動を提供します。
○制作活動	・慣習行事に合わせ制作物の指導・支援を行います。（お花見、七夕、紅葉、十五夜、ハロウィン、クリスマス、正月飾り、節分、ひな祭り等）
○集団活動	・集団でのコミュニケーション、ルール、マナーについて指導・支援を行います。（各種レクリェーション等）
○外出活動	・外出が困難な利用者と様々な場所へ出掛ける事で、見聞を広め精神的リフレッシュを図る事を目的とします。（初詣、菜の花見学、川内ダム見学、東通村寒立馬見学、むつ市釜臥山展望台見学等）
【放課後等ディサービス】	
○個別活動	・児童、生徒の障害特性に合わせ、指導、支援を行います。 （宿題、長期学校休校宿題、動作法訓練、絵合わせ、知育玩具等）
○制作活動	・慣習行事に合わせ制作物の作製について指導・支援を行います。 （こいのぼり、七夕、紅葉、十五夜、ハロウィン、クリスマス、正月飾り、節分、ひな祭り等）
○集団活動	・集団で遊ぶ楽しさ、コミュニケーションについて指導・支援を行います。（ボウリング大会、的あてゲーム、各種レクリェーション等）
○外出活動	・外出が困難な子供たちを、様々な場所へ出掛ける事で、見聞を広め精神的リフレッシュを図る事を目的とします。（初詣、菜の花見学、川内ダム見学、東通村寒立馬見学、むつ市釜臥山展望台見学等）
【児童発達支援事業】	
○読み聞かせ	・絵本は幼児の成長をサポートし、豊かな心を育みます。絵をみて刺激を受けたり、職員と幼児が一緒になって同じ絵本を見る時間が幼児を安心させます。
○心理リハビリテーション	・動作法とも言います。心理リハビリテーションを行う事で、運動・動作の改善を図る事が期待できます。
○制作活動	・制作活動を通して、発達に即した用具の扱い方や技術、 物事に取り組むときの粘り強さを身につけていくとともに、創造性も培われていきます。
○知覚運動学習	・触れる・揺れる・動かす・見る・聞くといった感覚（活動）を通して、自己の体に対する意識を高めたり、外界の存在に気付くことを期待します。
○リラクゼーション	・植物の良い香りとタッチングを通して「心地よさ」「安心感」を伝えられます。幼児期から「心地よさ」の感覚を体得できていると、精神・情緒が安定して過ごすことができます。
○保育所・幼稚園交流	・同年代の子どもたちと同じ空間(保育園、幼稚園)で過ごす事によって、子どもたちの「喜んでいる声、怒っている声。悲しい声、楽しい声」様々な声を直接耳にすることで、心身の発達や情緒の発達に繋がるとの思いから、事業所職員引率の下、実施します。

令和3年度　年間行事予定表

日＼月		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		月＼日
1	木	歓迎会	土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土	休日	火		火		1
2	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		2
3	土	休日	月	憲法記念日	木		土	休日	火		金		日	休日	水	文化の日	金		月	休日	木	節分	木	桃の節句	3
4	日	休日	火	みどりの日	金		日	休日	水		土	誕生会	月		木		土		火	初詣	金		金		4
5	月		水	こどもの日	土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	5
6	火		木		日	休日	火		金		月		水		土		月		木		日	休日	日	休日	6
7	水	むつ養入学式	金		月		水	七夕	土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月	休日	7
8	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土	キッズ新年会	火		火		8
9	金		日	休日	水		金		月		木		土	休日	火		木		日	休日	水		水		9
10	土	休日	月		木		土		火	キッズ夏祭り	金		日	休日	水		金		月	成人の日	木		木		10
11	日	休日	火		金		日	休日	水	山の日	土	休日	月	スポーツの日	木		土		火		金	建国記念日	金		11
12	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	12
13	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	13
14	水		金		月		水		土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月		14
15	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土		火		火		15
16	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		16
17	土		月		木		土		火		金		日	休日	水		金		月		木		木		17
18	日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	月		木		土	休日	火		金		金		18
19	月		水		土	休日	月	海の日	木	田名部祭見学	日	休日	火		金		日	休日	水		土		土	休日	19
20	火		木		日	休日	火		金		月	敬老の日	水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	20
21	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火		金		月		月	春分の日	21
22	木		土	休日	火		木		日	休日	水		金		月		水		土	休日	火		火		22
23	金		日	休日	水		金		月		木	秋分の日	土	休日	火	勤労感謝の日	木		日	休日	水	天皇誕生日	水		23
24	土	お花見	月		木		土	スポーツの日	火		金		日	休日	水		金		月	休日	木		木		24
25	日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	月		木		土	クリスマス会	火		金		金		25
26	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土		土	誕生会	26
27	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	誕生会	月		木		日	休日	日	休日	27
28	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火	キッズ納め	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土	誕生会	火		木		日	休日	水		金		月		水	休日	土	誕生会			火		29
30	金		日	休日	水		金	誕生会	月		木		土	ハロウィン	火		木	休日	日	休日			水		30
31			月				土	休日	火				日	休日			金	休日	月	休日			木		31

こども発達支援センター　りりぃ

●“専門性”“多機能性”をもってお子さまの育ちとご家族の子育てを応援します。

運営方針

障がいがあってもできるだけ身近な地域の中で、生き生きと育ち成長ができるように、私たちは、お子さまの発達が気になる段階から相談に応じ一人ひとりの障がい特性に寄り添った発達支援を適切に行います。
こども園（保育園、幼稚園）や学校等への訪問支援や機関連携によって、乳幼児から学齢期、少年期、成年前期にいたるライフステージにおいて「途切れのない」「地域で支える」支援を目指し、保護者様と共に喜び、時には悩みながら「育ち」を応援する場でありたいと考えています。

令和３年度品質目標

年　度　目　標
センターとして、保護者や地域が求める形に近づけます。 「保護者との対話」「関係機関との情報共有」「各種会議への参加・研修会の企画」
実　施　計　画
地域で生活していく中で、お子さまやご家族への支援はもちろんの事、保育・教育・行政関係者・地域の方々のご理解とご協力が不可欠と考えます。 発達に課題があるお子さまの特性や支援方法について知ってもらう機会や、当センターの役割とサービスに触れる機会を設けます。
実　施　方　法
白百合保育園と連携をしながら情報交換や交流を通してスキルアップを図ります。 （職員間の勉強会・児童相互の訪問・各種活動での交流・大行事への参加等） ①保育園やこども園・学校等と併用利用する児童については、相互に訪問を行い課題や変化を共有し、保護者と連携して療育に繋げます。 ②保育園やこども園に属していない児童については、医療機関や行政機関との情報共有を深め、保護者と連携して療育に繋げます。 ③母子通園の機会を設け、保護者や家族の相談支援と療育支援を行う。 ④支援者（療育者）としての知識と支援力のスキルアップのため、スタッフが研修に参加する機会を増やします。

重 点 目 標

・医療的ケアが必要な子どもの受け入れ体制を整え、支援内容の充実と安心・安全を保証していきます。

・障害福祉サービス等報酬改定の内容を把握し、国が求める支援に近づけるように努力めます。

・スタッフの療育スキルを高めるための研修参加や、個々への「力量」の設定と明解化を進めます。

1. PDCA の管理サイクルを検証します。

開所２年目に向かって、初年度の計画（P）と運営（D)。その結果を適切に振り返り・評価（C）し、想定していた形と違う部分については実状に沿うよう改善と変化(A)を行います。

2. 利用児・保護者や家族、更には地域のニーズを分析し検証します。

↓

「児童発達支援利用希望児童の増加」や「医療的ケア児の利用希望」

↓

「受入れ定数の見直し」
「医ケア児の受け入れ体制の充実・関係機関との情報共有」

保護者が求める療育の方向性、利用定員の変更や重複障がい児の受け入れ体制、更には医療的ケアが必要な児童の支援体制について、保護者と対象児童を中心に据えた各関係機関との会議や情報共有などを通して、保護者や地域がセンターに求める形に近づけるよう努力します。

3．センターの在り方を検証します。

創設された事業や、それに付随する加算等について理解し取り組みを進めます。
センターとして求められる“専門性と多機能性”を担保するべくスタッフのスキルアップを目指します。

↓

センターが求められる“専門性（発達支援、保護者支援、地域支援）”と“多機能性（医療及び行政との連携、重複障がい児支援、医療的ケア児支援）”をより充実するために、国の児童福祉施策を分析しサービス提供をします。

サービス重点事項：あそび・子どもらしさ・療育 こどものサインを見逃しません。	
あそびの目的	・発達過程を捉え、スキンシップを通して楽しい時間を過ごします。 ・あそびを通して他者の存在を意識し、その場の雰囲気を共有します ・物や言葉のやり取りを通じ、期待感や意外性を経験し、楽しさや面白さを双方で発展させていけることを共有します。 ・今まで経験しなかったことを経験することで、世界観を広げます。 ・お友達を気にしたり、思いやりをもって他者に関わりを求めたりする気持ちの芽生えを大切に社会性を育みます。
成長を促す働きかけ	・感覚の発達を促します。 ・身体の運動活動を促します。 ・手の運動発達を促します。 ・社会性の発達を促します。
感覚統合療法	・身体全体での活動を取り入れます。 ・遊具を使って、刺激⇔反応のムーブメントを作ります。 ・あそびを楽しみ、喜び合える活動を提供します。 ・興味関心を引き付ける環境づくりや、活動の展開を工夫します。 ・常に健康と幸福感の達成を目的として行います。
コミュニケーション	・発声、発語 ・目を合わせてくれるか ・音や声のする方を見てくれるか ・身体の緊張はあるか ・笑う、泣く ・不快表情の有無(眉をひそめる・脈拍が早くなる。唾液が出る等) ・好きな事は何か ※保護者様からの情報を基に自らの欲求のサインを汲み取ります。
支援者が関わるポイント	・良く観察をします ・個々に合わせた遊びを提供します。 ・リハビリにつなげた遊びを提供します。 ・サインを感じ取ります。 ・小さなサインからニーズを把握します。 ・好きな事、好きな遊びを把握します。 ・保護者様から伺った関わり方を実践したのち、個々に合わせた、子どもと支援者の関係性を形成します。

⇩

○利用児が主体的に行なえるよう、人を含む環境を整備し活動を提供します。
○良く観察し、感じ取れる感性を磨きます。
○個別性に合わせた関わりを尊重し、保護者様との情報共有を大切にします。
○一人ひとりの持てる力を最大限に引き出せる働きかけを追求します。

令和3年度 こども発達支援センターりりぃ 年間予定表

各種行事、避難訓練等に関しては「白百合保育園」と連携して進めていく

日＼月	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		日＼月
1	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土	元旦 休日	火		火		1
2	金		日	休日	水		金		月		木		土	休日	火		木		日	休日	水		水		2
3	土		月	憲法記念日 休日	木		土	休日	火		金		日	休日	水	文化の日 休日	金		月	休日	木		木		3
4	日	休日	火	みどりの日 休日	金		日	休日	水		土	休日	月		木		土		火		金		金		4
5	月		水	こどもの日 休日	土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	5
6	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	6
7	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火		金		月		月		7
8	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土		火		火		8
9	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		9
10	土	休日	月		木		土	休日	火		金		日	休日	水		金		月	成人の日 休日	木		木		10
11	日	休日	火		金		日	休日	水	山の日 休日	土	休日	月	スポーツの日 休日	木		土		火		金	建国記念日 休日	金		11
12	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土	休日	土	休日	12
13	火		木		日	休日	火		金		月		水		土	休日	月		木		日	休日	日	休日	13
14	水		金		月		水		土		火		木		日	休日	火		金		月		月		14
15	木		土		火		木		日	休日	水		金		月	.	水		土		火		火		15
16	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木		日	休日	水		水		16
17	土	休日	月		木		土		火		金		日	休日	水		金		月		木		木		17
18	日	休日	火		金		日	休日	水		土		月		木		土	休日	火		金		金		18
19	月		水		土	休日	月	海の日 休日	木		日	休日	火		金		日	休日	水		土		土		19
20	火		木		日	休日	火		金		月	敬老の日 休日	水		土		月		木		日	休日	日	休日	20
21	水		金		月		水		土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月	春分の日	21
22	木		土		火		木		日	休日	水		金		月		水		土		火		火		22
23	金		日	休日	水		金		月		木	秋分の日 休日	土	休日	火	勤労感謝の日 休日	木		日	休日	水	天皇誕生日 休日	水		23
24	土	休日	月		木		土		火		金		日	休日	水		金		月		木		木		24
25	日	休日	火		金		日	休日	水		土		月		木		土		火		金		金		25
26	月		水		土	休日	月		木		日	休日	火		金		日	休日	水		土		土	休日	26
27	火		木		日	休日	火		金		月		水		土		月		木		日	休日	日	休日	27
28	水		金		月		水		土	休日	火		木		日	休日	火		金		月		月		28
29	木	昭和の日 休日	土		火		木		日	休日	水		金		月		水	休日	土				火		29
30	金		日	休日	水		金		月		木		土		火		木	休日	日	休日			水		30
31			月				土	休日	火				日	休日			金	休日	月				木		31

相談支援事業所　ぱれっと

●ご本人の希望する生活実現に向け地域での暮らしの“安心”を支援します。

運営方針

障がいに関する様々な法規の基本理念の理解と順守、またノーマライゼーションの精神にのっとり利用者のニーズにお応えできるよう、満足のいただけるサービスの提供や安心できる生活の場を提供及び、利用者の人格や個性を大切にした相談の受入れに取り組みます。
また、地域福祉発展に協力するため、制度の改革や技法の収集にも力を入れ、先駆的な地域福祉の向上を目指して活動します。
対応地域：むつ市・下北・上北　全域

令和３年度品質目標

年　度　目　標

病院や施設で長期間生活している方の思いに寄り添い、地域生活へ移行・定着できるよう支援します。
今年度は、２名以上の地域移行・定着を目指します。

実　施　計　画

【相談支援専門員】

◎地域移行支援と地域定着支援の実施に努め、保健所や病院、入所施設等と連携を図ります。
◎利用者様とは月２回以上の面談を重ね、信頼関係を築きます。
◎各種会議等に積極的に参加し、必要な情報提供や同行支援をしてサービスへつなぎ、地域で24時間時間安心して生活できる体制を構築します。

【管理者】

◎相談支援専門員の活動状況を朝の引継ぎやケース記録等で確認します。
◎月ごとの状況は、毎月末付で翌月１週目をめどに推進委員より報告を受けチェックします。

【ISO 推進委員】

◎相談支援専門員の活動状況をチェックし、面談や同行回数、各種会議参加状況等を品質目標実施報告書に記載します。

◎毎月末付で、翌月１週目をめどに管理者へ提出します。

重 点 目 標
１）利用者様を主体として、希望する生活の実現や、 地域で安心して楽しく過ごせるよう、信頼関係を構築し、様々な情報提供や行政、医療、教育など多職種と連携を図りながら、必要なサービスを組み合わせ、ひとりひとりの生涯に寄り添い支援し続けます。 ２）関係法規の順守、福祉に対する先駆的な取り組みに向けた研修会等への参加、地域に必要な社会資源の開発に携わり、地域福祉への貢献に努め、地域から必要とされ続ける事業所であること。

事業内容について			
事業体制	事業所は平日営業となりますが携帯電話等による相談は 24 時間体制で受け付けます。		
事業の種類	1	一般相談支援事業	施設や精神科病院へ長期間入所･入院している方のご希望を伺いながら地域で安心して生活できる体制を整えます。 ・基本相談支援 ・地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）
	2	特定相談支援事業	18 歳以上の方が利用する障害福祉サービスについて情報提供や見学同行など、ご家族を含めご要望を伺いながら次のステップへとつなぎます。
	3	障害児相談支援事業	18 歳未満の方が利用する障害児福祉サービスについて情報提供や見学同行など、ご家族を含めご要望を伺いながら次のステップへとつなぎます。
	4	むつ下北地区の障害者虐待等の緊急時及び夜間･日･祝祭日の通報受付窓口の受託 24 時間 携帯電話での連絡体制を整備しています。	
業務内容	1	一般業務	･相談業務－訪問相談・来所相談・電話相談 ･同行業務－サービス利用申請・事業所見学・体験利用等 ･事務業務－サービス利用計画案作成 モニタリング報告書作成 給付費請求業務 サービス等利用計画案・モニタリング報告作成管理
	2	受託業務	･市町村地域生活支援事業(むつ市・大間町・風間浦村・佐井村) ･青森県障害児等療育支援事業 ･市町村障害者虐待防止センターの機能の一部として、夜間･休日･祝祭日の受付窓口
	3	各種協議会委員会への参加	･各市町村自立支援協議会（むつ市･大間町･風間浦村） ･各町村の福祉計画策定委員（大間町･風間浦村） ･むつ市要保護児童対策地域協議会 ･むつ市特別支援教育推進委員会 ･むつ市地域ケア会議 ･青森県発達障害者支援連絡協議会

共同生活援助　グループホーム　陽まわり荘

●“私の意志で私自身の暮らし”を叶える支援に努めます。

運営方針

障害のある方々の共同生活による暮らしを支える為、日常生活を送るうえで楽しみとされる余暇に対する支援を充実させ、健康的に暮らせるよう栄養バランスの取れた食事の提供や日常生活上の相談対応、通院や買い物等で外出する際の同行など、利用者様一人一人のニーズに合わせた支援を行います。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

① 帰荘後の手洗い・消毒、外出時のマスクの着用、入浴前・出勤時の検温を実施することで、感染対策に対しての自覚を促し、感染リスクに対する意識を強化できるよう支援します。

② 毎月、食事のテイクアウト(状況によっては外食)を行い、市内飲食店の情報提供を行うことで、希望のメニューを自ら提案し、店選びの楽しさや楽しい食事のひと時を感じられるよう支援します。

【活動スケジュール】

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
目標①②の実施 毎月の打合せで 達成度評価･確認												
目標①②（回） 陽まわり荘１号館												
目標①②（回） 陽まわり荘２号館												

※施　設　長 － 統括・管理・全体把握

※ISO 推進委員 － 目標達成に向けた進捗状況の確認・実施報告書の作成

※世　話　人　生活支援員 －①バイタルチェック・食事療法・通院同行・整容、入浴に関するアドバイス実施
②外食希望の聴取・外出同行・社会資源について情報提供

重 点 目 標
○日々の暮らしのモチベーションにつながるよう、外食やテイクアウトによる楽しみや、安全に最大限配慮し可能な範囲での外出機会を設け、余暇の充実を図る。 ○利用者の心身の状況や置かれている環境など的確な把握に努め、利用者個々の悩みや相談事に対して、プライバシーに配慮しながら最優先で応じていきます。 ○体調管理や衛生面保持に配慮し、適宜通院同行や食事療法、入浴や整容面に関する支援を行います。 ○自立に向け必要とされるスキルを習得出来るよう、調理実習の実施や医療機関との連絡調整、服薬管理や金銭管理等において支援します。

保 育 部 門

白百合保育園
小川町第二白百合保育園
小規模保育事業所　ナーサリーしらゆり
風間浦村指定管理　風間浦保育所

白 百 合 保 育 園

●あそびの中の、おもしろいね、ふしぎだね、すごいね！を大切にします。

保育方針

・子どもが安心して楽しく生活できる場として環境を整えるます
・一人ひとりを大切にし、個々の理解に努めます。
・基本的生活習慣の自立をめざし、社会生活に望ましい態度を育みます。
・「遊びからの学び」を大切にし、今の時期に必要な経験をたくさん提供します。
・ご家庭との連携を図りながら保護者様が子育ての喜びが感じられるように支援します。

令和３年度品質目標

年　度　目　標
保育環境を整え保育活動の充実を図ります。 保護者や地域への情報発信を通して地域社会からの理解と支持を得るよう努めます。
実　施　計　画

●子どもたちが楽しく活動できる環境設定を工夫し、保育活動の充実を図ります。

・様々な食べ物や食材に興味や関心が持てるよう、野菜づくりを取り入れ食事を楽しめる環境の工夫をし食育活動の充実を図ります
・戸外活動の内容を充実させ自然に触れることで豊かな感性を育んでいきます
・異年齢児との交流を通して思いやりの気持ちを育みながら「遊び」の充実を図ります
・こども発達支援センターりりぃと連携しながら、職員間での情報交換や交流を通して障がい児支援のスキルアップを図ります

●保護者様の気持ちに寄り添った保育に努め、園の活動状況をホームページやおたより等で定期的に情報発信をしていきます。

・送迎時の連絡や連絡帳、個人面談等を活用し、一人ひとりの子どもの様子や保育士の関わり方などしっかり伝え情報を共有することで信頼関係を築き適切な支援に努めます
・ホームページは年間計画を作成し内容を充実させ定期的な情報発信をします
＜更新内容：日々の保育活動・行事の様子・感染症状況・給食（行事食等）・職員の研修の様子等＞

重 点 目 標
○職員の質の向上と協力体制の強化に努めます。
① 職員全体の質の向上をめざし専門性の知識を高めるため積極的な研修（リモート・オンライン等）に参加し自己研鑽に努めます。 ② 園内研修の充実を図り日々の保育の中で実践していきます。 ③ 職員それぞれが責任と自覚を持って職務にあたり、コミュニケーションを密に図ることで働きやすい環境づくりをしていきます。 ④ 報・連・相」を徹底し情報を共有します。
○保育内容の充実を図ります。
① 子ども達が安心してのびのびと活動できるような環境を工夫し整えます。 ② 食育活動の充実を図ります。（野菜作りなどを通していろいろな経験ができるようにします） ③ 異年齢児との交流を通して思いやりの気持ちを育みながら「あそび」の充実を図ります。 ④ 運動遊び（ボールあそび・マット運動・体操・マラソン等）に取り組み、心身ともに健康な体作りをめざします。
○保護者支援の強化に努めます。
① 一人ひとりの子どもの家庭状況等を十分理解し情報を共有することで信頼関係を築き適切な支援をしていきます。
○子ども発達支援センターりりぃとの連携を深めます。
① 子ども発達支援センターりりぃを利用している本園園児の関わり方や支援の仕方について情報交換を行い、専門的な知識と支援のスキルアップに努めます。 ② 行事等での交流を通して職員間の連携を図ります。
○地域や保護者への情報発信を強化していきます。
① 園の活動状況を定期的に情報発信していきます。 ② ホームページでは日々の保育活動や行事の様子、日々の給食について、感染症状況等の内容を工夫し情報を発信していきます。

保 育 目 標	
・健康でたくましい子 ・友だちとなかよくできる子 ・さいごまで　がんばる子	
目標とする子どもの姿	
・健康でげんきよくあそぶ子ども ・自分のことは自分でする子ども ・友だちとの関わりの中で自分の気持ちを伝え、みんなで力を合わせることを大切にする子ども ・自然や身の回りのことに目を向けられる子ども ・感動し、驚き、疑問に思う心を持ち、考え、表現できる子ども	
乳　児　保　育：視覚、聴覚等の感覚や、運動機能の発達、情緒的な絆が形成されるため、愛情豊かで応答的に関わる保育の実践	
0 歳児保育目標	・一人ひとりの生活リズムに合わせて、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし情緒の安定を図ります。 ・優しく語り掛けたり発語や喃語に応答して発語の意欲を育てます。
1 歳児以上 3 歳未満：基本的な運動機能が発達し、身体的機能も整う。自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守りながら愛情豊かに応答的に関わる保育の実践	
1 歳児保育目標	・一人ひとりの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし情緒の安定を図ります ・安全で活動しやすい環境の中で自由な活動を十分に行い体を動かすことを楽しみます。
2 歳児保育目標	・一人ひとりの情緒の安定を図りながら簡単な身の回りの活動を自分でしようとする意欲を持たせます。 ・いろいろな経験を通して言葉が豊かになり、自分の思いや要求を言葉で表現できるようになります。
3 歳児以上児：基本的な生活習慣もほぼ自立する。個の成長と集団としての活動の充実が図られる保育の実践	
3 歳児保育目標	・生活に必要な身の回りの基本的生活習慣を身につけます。 ・自分の気持ちや思いを言葉で伝え相手の気持ちにも気づき一緒に遊ぶ楽しさを感じあいます。
4 歳児保育目標	・自分でできることに喜びを持ち、健康･安全など生活に必要な習慣を身に付けます。 ・大人や友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しみます。
5 歳児保育目標	・自分の思ったこと、想像を自ら工夫し様々な方法で表現できるようになります。 ・集団での活動を楽しみながら仲間意識が芽生え達成感や自信が持てるようになります。

令和３年度　年間行事予定一覧表　白百合保育園

	４月		５月		６月		７月		８月		９月		１０月		１１月		１２月		１月		２月		３月		
1	木	入園式　安全チ	土		火	安全チ　面談（1.4才児） 保育参観（くま）	木	ヒヤリハット 給食会議　安全チ	日		水	ヒヤリハット 給食会議　安全チ	金	ヒヤリハット 給食会議　安全チ	月	安全チ	水	安全チ 保育参観（くま）	土	元旦・年始休暇	火	ヒヤリハット 給食会議　安全チ	火	ヒヤリハット 給食会議　安全チ	1
2	金	進級式	日		水	ヒヤリハット 給食会議	金	赤十字活動３	月	安全チ 赤十字活動４	木		土		火	ヒヤリハット 給食会議	木	ヒヤリハット 給食会議	日		水		水		2
3	土		月	憲法記念日	木		土		火	ヒヤリハット 給食会議	金	園外保育	日		水	文化の日	金		月		木	豆まき会	木		3
4	日		火	みどりの日	金	赤十字活動２	日		水		土		月		木		土		火	安全チ 保育始め集会	金		金		4
5	月		水	こどもの日	土		月		木		日		火		金	リーダー会議	日		水	ヒヤリハット 給食会議	土		土	卒園式	5
6	火		木	安全チ	日		火		金		月		水		土		月		木		日		日		6
7	水	ヒヤリハット 給食会議	金	赤十字活動１ ヒヤリ・給食会議	月		水	七夕の集い	土		火		木		日		火	保育参観（りす）	金		月		月		7
8	木		土		火	不審者対応訓練	木	リーダー会議	日	山の日	水	リーダー会議	金		月		水	保育参観（ぱんだ） 面談（2.3才児）	土		火	不審者対応訓練	火	修了記念撮影 大掃除週間	8
9	金		日		水	リーダー会議	金		月	休日	木		土		火		木	リーダー会議	日		水	リーダー会議	水	リーダー会議	9
10	土		月		木		土		火		金		日		水	ケース会議	金		月	成人の日	木		木		10
11	日		火		金		日		水	リーダー会議	土		月		木		土		火	面談（1.4才児）	金	建国記念の日	金	誕生会	11
12	月	身体測定週間	水	リーダー会議	土		月	身体測定週間	木		日		火		金		日		水	リーダー会議	土		土		12
13	火	マーチング指導	木		日		火		金		月	身体測定週間	水	リーダー会議	土		月	身体測定週間	木		日		日		13
14	水	リーダー会議	金	総合避難訓練	月	身体測定週間 避難訓練	水	ケース会議	土	避難訓練	火	大掃除週間	木		日		火	相談システム	金	避難訓練	月	身体測定週間 避難訓練週間	月	身体測定週間 避難訓練週間	14
15	木		土		火	保育参観（りす） 面談（2.3才児）	木	相談システム	日		水	ケース会議	金		月	身体測定週間	水	誕生会	土		火		火		15
16	金	避難訓練	日		水	ケース会議	金		月	身体測定週間	木	相談システム	土		火		木	ケース会議	日		水	ケース会議	水	ケース会議	16
17	土		月	身体測定週間	木	相談システム	土	夏まつり	火		金		日		水		金	避難訓練	月	身体測定週間	木	相談システム	木		17
18	日		火	保育参観（ぞう） 面談（0.5才児）	金		日		水	ケース会議	土	運動会	月	身体測定週間	木		土		火		金		金	お別れ会	18
19	月		水	ケース会議	土		月		木	相談システム	日		火		金		日		水	ケース会議	土		土		19
20	火		木	相談システム	日		火	誕生会	金		月	敬老の日	水	ケース会議	土	お遊戯会	月		木	相談システム	日		日		20
21	水	ケース会議	金	園外保育	月		水	職員会議	土	避難訓練	火		木	歯科検診 相談システム	日		火	職員会議	金	誕生会	月		月	春分の日	21
22	木	相談システム	土		火	誕生会	木	海の日	日		水	誕生会	金	誕生会	月		水		土		火	職員会議	火		22
23	金	誕生会	日		水	職員会議	金	スポーツの日	月		木	秋分の日	土		火	勤労感謝の日	木	クリスマス会	日		水	天皇誕生日	水	職員会議	23
24	土		月		木		土		火	誕生会	金		日		水	面談（0才児）	金		月		木		木	相談システム	24
25	日		火	誕生会	金		日		水	職員会議	土		月	内科検診	木	誕生会 相談システム	土		火	保育参観（ぞう） 面談（5才児）	金	ひなまつり 誕生会	金		25
26	月		水	歯科検診 職員会議	土		月		木		日		火		金	職員会議	日		水	職員会議	土		土		26
27	火	こどもの日の集い	木	内科検診	日		火	消防署訪問	金		月		水	総合避難訓練 職員会議	土		月		木		日		日		27
28	水	職員健康診断 職員会議	金		月		水	避難訓練	土		火	避難訓練	木		日		火	保育納め集会	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土		火		木		日		水	職員会議	金	七五三のお祓い	月	避難訓練	水	年末休暇	土				火		29
30	金		日		水		金		月		木		土		火		木		日				水	修了式	30
31			月				土		火				日				金		月				木	終園日	31

小川町第二白百合保育園

●やさしい気持ちを養い、豊かな心を育てます。

保育方針

・人に対する愛情と信頼感、自主性、協調性を養い道徳の心の芽生えを育てます。
・自然や社会の事象について興味や関心を育て、それに対する豊かな心情や思考能力の基礎を育てます。
・言葉への興味や関心を育て、喜んで話したり、聞いたりする態度や、豊かな言葉を養います。
・集団生活の中で基本的習慣を身に付けます。
・生きる喜びを大事にすることと、困難を乗り切る力や生きていくための基礎を養います。
・食べ物への興味や関心を育て、感謝の気持ちと健康な生活の基本として「食を営む力の基礎」を育てます。
・保護者や地域から心頼され、安心して預けられる保育園を目指します。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

〇育てたい子どもの姿を意識した保育内容の充実を図ります。
〇保育者の特技を活かし、子どもたちの未来・夢へ繋がる保育を目指します。

実　施　計　画

●子どもの興味関心に耳を傾け、気づきを大切にし、豊かな心を育む。

保育者や様々な物と関わり、体験・経験しながら成長する。

・遊び
・絵本の読み聞かせ
・スポーツ…サッカー教室
・礼儀作法…茶道教室
・栽培活動…袋で育てる野菜作り
・音楽鑑賞…ピアノ演奏
・体を動かす…ダンス
・作って遊ぶ

●「育ってほしい 10 の姿」から毎月保育者が自らテーマを一つ決め、保育活動を実践します。

●保護者様が子育てに対する喜びや充実感を感じられるような支援に努めます。

・送迎時の会話や連絡帳等を活用し、子どもが体験したことや、子どもの思い等を伝えることの積み重ねから、信頼関係を築きます。
・子育ての相談等を具体的に聞き、問題点を見つけ、解決方法を一緒に考えていきます。

●ホームページを活用し、地域社会の要求に応えられるような情報発信をします。

重 点 目 標

〇育てたい子どもの姿を意識した保育内容の工夫

① 子どもの姿、言葉から、育ちと学びを感じ取り保育に繋げる。
② 子どもの興味関心に耳を傾け保育に繋げる。
③ 子どもの何気ないエピソードに気づき保育に繋げる。
④ 保育の振り返りができ、PDCA を生かした保育の実践をする。
⑤ １年を通して子どもたちが自主的に遊びを展開できる保育内容を工夫する。
⑥ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」に沿って進められるようにする。
⑦ 乳児は愛着を大切にした保育の実践に努める。

〇保護者とのコミュニケーション

① コロナ禍の中において保護者との信頼関係を深めるため、子どもの様子を丁寧に伝えることや連絡帳等を活用し、家庭で困っていることや相談事等の助言に努める
② 伝える際には、保護者の思いがあることも考えながら、強制的な伝え方にならないよう十分配慮する。

〇スキルアップ

① 得意、特技を生かした保育の実践。
② 保育指針に基づいた保育を目指すため、研修等への積極的な参加をする。

保 育 目 標	
～「生きる力」を育む～ 1. 遊びは学び　（知） 2. 豊かな人間性を育てる　（徳） 3. 健康な体づくり　（体）	
目標とする子どもの姿	
1. 1 自ら考え、判断できる子ども　「よく考える」 2. 2 相手の気持ちに気づける子　「やさしい心」 3 心身ともに健康で元気な子ども　「じょうぶな体」	
乳　児　保　育：視覚、聴覚等の感覚や、運動機能の発達、情緒的な絆が形成されるため、愛情豊かで応答的に関わる保育の実践	
0 歳児保育目標	・一人ひとりに合った生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たし情緒の安定を図ります。 ・優しい語り掛けをし、発語や喃語を受け止め発語を促します。
1 歳児以上 3 歳未満：基本的な運動機能が発達し、身体的機能も整う。自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守りながら愛情豊かに応答的に関わる保育の実践	
1 歳児保育目標	・自由に体を動かして楽しめるよう安全で活動しやすい環境を整えます。 ・安心できる保育士との関係の下で、子どものやりたい気持ちを大切にします。
2 歳児保育目標	・生活に必要な基本的習慣を育みます。 ・身近なものと関わり、好奇心や探求心などの感性を育みます。
3 歳 児 以 上 児：基本的な生活習慣もほぼ自立する。個の成長と集団としての活動の充実が図られる保育の実践	
3 歳児保育目標	・自分の欲求や感じた事を自分なりの方法で表現できるようになります。 ・友だちと一緒に生活する楽しさを感じ、相手の気持ちに気づけるようになります。
4 歳児保育目標	・自分でできることに喜びを感じ、健康、安全など生活に必要な基本的習慣を身に付けます。 ・集団で活動することを楽しみ、友だちとのつながりを深めます。
5 歳児保育目標	・自分で考え、工夫し、諦めずにやり遂げることで自信を持ち、自立心を育みます。 ・友達と様々な体験を重ねる中で、良い事、悪い事がわかる道徳性を育みます。

令和３年度　年間行事予定一覧表

小川町第二白百合保育園

	４月		５月		６月		７月		８月		９月		１０月		１１月		１２月		１月		２月		３月		
1	木	入園式	土		火	安チ	木	職員会議	日		水		金		月	安チ	水		土	元日・年始休暇	火	安チ	火	安チ	1
2	金	職員健康診断 安チ	日		水	職員会議	金		月	安チ	木	職員会議	土		火	職員会議	木	職員会議	日		水	職員会議	水	職員会議	2
3	土		月	憲法記念日	木		土	夏まつり	火		金		日		水	文化の日	金		月		木	豆まき会・誕生会	木	ひなまつり会・ 誕生会	3
4	日		火	みどりの日	金	内科検診	日		水	職員会議	土		月	安チ	木		土		火	安チ 保育始め集会	金		金		4
5	月	進級式	水	こどもの日	土		月	慰問（隔奉園/しも療） 給食会議・安チ 是正・ヒ	木		日		火		金		日		水	職員会議	土		土		5
6	火		木		日		火	慰問（隔奉園/しも療）	金	避難訓練	月	安チ・給食会議 是正・ヒヤリ報告会	水	職員会議	土	避難訓練	月	安チ・給食会議 是正・ヒヤリ報告会 個人面談（１歳児）	木		日		日		6
7	水	職員会議	金	職員会議	月	給食会議 是正・ヒヤリ報告会 個人面談（２歳児）	水	七夕の集い	土		火		木		日		火		金	個人面談（３歳児）	月	給食会議 是正・ヒヤリ報告会	月	安チ・給食会議 是正・ヒヤリ報告会	7
8	木		土		火	防犯安全訓練	木		日	山の日	水		金		月	給食会議 是正・ヒヤリ報告会	水	避難訓練	土		火	避難訓練	火		8
9	金		日		水	英語教室	金		月	振替休日	木		土		火		木		日		水	英語教室	水		9
10	土		月	安チ・給食会議 是正・ヒヤリ報告会 個人面談（０歳児）	木		土		火	給食会議 是正・ヒヤリ報告会	金	秋の遠足	日		水		金	誕生会	月	成人の日	木		木		10
11	日		火		金		日		水	英語教室	土		月	給食会議 是正・ヒヤリ報告会	木		土		火	給食会議 是正・ヒヤリ報告会	金	建国記念日	金		11
12	月	給食会議・身体測定週間 是正・ヒヤリ報告会	水	英語教室	土		月	身体測定週間	木		日		火		金	誕生会	日		水	誕生会	土		土	卒園式	12
13	火	新年度会議	木		日		火		金		月	身体測定週間 大掃除週間	水	総合避難訓練	土		月	身体測定週間 個人面談（２歳児）	木		日		日		13
14	水		金	春の遠足	月	参観日（３歳児） 身体測定週間 個人面談（３歳児）	水		土		火		木		日		火		金	避難訓練	月	身体測定週間	月	身体測定週間 大掃除週間	14
15	木	リーダー会議	土		火	事業所訪問	木	リーダー会議	日		水	英語教室	金		月	身体測定週間	水	英語教室	土		火		火	修了記念撮影	15
16	金	避難訓練	日		水		金		月	身体測定週間	木	リーダー会議	土		火		木	リーダー会議	日		水		水	リーダー会議	16
17	土		月	参観日（４、５歳児） 身体測定週間 個人面談（４歳児）	木	リーダー会議	土		火		金	避難訓練	日		水	英語教室	金		月	個人面談（４歳児）	木	リーダー会議	木	英語教室	17
18	日		火		金	誕生会	日		水	誕生会	土		月	身体測定週間	木	リーダー会議	土		火		金	防犯安全訓練	金	お別れ会	18
19	月	ケース会議	水		土		月		木	リーダー会議	日		火	歯科検診	金	相談システム	日		水	英語教室	土		土		19
20	火		木	リーダー会議	日		火	英語教室	金		月	敬老の日	水		土		月	ケース会議	木	リーダー会議	日		日		20
21	水	英語教室	金	総合避難訓練	月	ケース会議	水	誕生会	土		火		木	リーダー会議	日		火		金		月	ケース会議	月	春分の日	21
22	木	相談システム	土		火	避難訓練	木	海の日	日		水	相談システム	金	誕生会	月	ケース会議	水		土		火		火	ケース会議	22
23	金	誕生会	日		水		金	スポーツの日	月	ケース会議	木	秋分の日	土		火		木	相談システム	日		水	天皇誕生日	水	避難訓練	23
24	土		月	ケース会議 個人面談（５歳児）	木	相談システム	土		火		金	誕生会	日		水		金	クリスマス会	月	参観日（５歳児） ケース会議 個人面談（５歳児）	木	相談システム	木	相談システム	24
25	日		火	誕生会	金		日		水		土	運動会	月	ケース会議	木		土		火		金		金		25
26	月		水		土		月	ケース会議	木		日		火	英語教室	金		日		水		土		土		26
27	火		木	相談システム	日		火	避難訓練	金		月		水	内科検診	土	お遊戯会	月		木	相談システム	日		日		27
28	水	子どもの日の集い	金	歯科検診	月		水		土		火	参観日（２歳児）	木	相談システム	日		火	保育納め集会	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土		火		木	相談システム	日		水		金	七五三のお祓い	月	慰問 （ニコニコハウス大曲） 個人面談（０歳児）	水	年末休暇	土				火		29
30	金		日		水		金		月		木		土		火		木		日				水	修了式	30
31			月	個人面談（１歳児）			土		火				日				金		月				木	終園日	31

小規模保育事業所　ナーサリーしらゆり

●ご家庭との連携を大切にし、健やかな育ちをゆっくりとていねいにお手伝いします。

保育方針

◎少人数制の家庭的な雰囲気の中で園児一人ひとりの欲求を満たし、きめ細やかな保育を提供します。

・一人ひとりの思いを受けとめ、心豊かな子どもを育てます。
・心身ともに健康で、生き生きとした子どもに育てます。
・個人差を考慮しながら、離乳・歩行・言葉の発達、運動機能等基本的生活習慣を身に付けます。
・いろいろな遊びを通して、今の時期に必要な経験をたくさんつみます。
・保護者の思いを汲み取りながら家庭と連携し子どもの心身の発達を促します。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

・職員の資質向上を目指し、専門性を生かした保育環境の充実と保護者支援を行います。

実　施　計　画

・ＯＪＴを活性化し、チームの保育の質を高めます。
・子ども一人一人に応じた援助を適切に行えるよう、資質向上のための研修を実施します。
・子どもの主体性を尊重する環境構成や援助について振り返り、次月の援助目標を確認し充実を図ります。
・子どもと保護者の状況や意向を受け止め、保護者とより良い協力関係を築きながら適切な支援を行います。
　→おたより、ホームページ発信等

○健康支援	
日常的	・登所時･午睡前の検温を行ないます。 ・空気清浄機や次亜塩素酸水加湿器等の衛生機器を使用します。 ・遊具や玩具の消毒、定期的な換気、室内消毒の徹底を図ります。 ・登所、降所時視診、触診を行い、健康状態に変化がないか確認し保護者様に引き渡します。 ・薬の与薬…保護者様からの依頼により看護師と連携し医師の指示通り与薬します。（お薬連絡票を使用し確実に与薬します。）
定期的	・身体計測を行ないます。（月１回：保護者様へ通知します） ・内科･歯科検診を行ないます。（嘱託医により実施し保護者様に通知します。） ・保健だよりを発行します。（毎月１回発行：保護者様へ配布します）
臨時的	・感染症などの発生について随時保護者様へお知らせします。 （所内での発生状況をお知らせし医療機関受診のお願いをさせていただく場合もあります。）

○給食支援 ※体調がすぐれない時やアレルギーのお子さまには、医師の指示や協力のもと適切に対応させていただきます。	
遊ぶことを通して	おなかがすくリズムがもてます。
人との関わりを通して	一緒に食べることの楽しさを感じます。
食べることを通して	食べたいもの、好きなものが増えます。
食文化との出会い	食事のマナーを身につけます。

○保護者支援
・日常の会話の中での育児相談・育児支援を行ないます。
・育児日誌、連絡帳での情報の共有を行ないます。
・掲示物による情報提供を行ないます。（感染症や周知事項について）
・配布物による情報提供を行ないます。（園だより･保健だより･給食だより･クラスだより等）
・個人面談を実施します。（保育に関する情報共有並びに子育てに関する悩みや園へのご要望について）

○連携施設との交流
・連携保育園、連携幼稚園との合同保育･合同健診･代替保育･職員交流を行ないます。 ・夏祭り（星美幼稚園） ・運動会（小川町第二白百合保育園） ・お遊戯会（小川町第二白百合保育園） ・1.2 歳児交流（小川町第二白百合保育園）

<table>
<tr><th colspan="2">保育目標</th></tr>
<tr><td colspan="2">・のびのびと自己を表現できる感情豊かな子。
・心身ともに健康な子。
・自分で考え、遊びを楽しめる子。</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標とする子ども姿</td></tr>
<tr><td colspan="2">・保育者や友だち、人と関わることを心地よく感じる子ども。
・感情を素直に表現して、元気よく過ごす子ども。
・自然や身近なものに興味、関心のもてる子ども。
・様々な体験を通して主体的に生活し、遊べる子ども。</td></tr>
<tr><td colspan="2">乳　児　保　育：視覚、聴覚等の感覚や、運動機能の発達、情緒的な絆が形成されるため、愛情豊かで応答的に関わる保育の実践</td></tr>
<tr><td>０歳児保育目標</td><td>・個人差に留意しながら、離乳の完了や歩行、発語への意欲を高める。
・安心できる保育者との応答の中で、「愛されている」「認められている」「大切にされている」と感じられるように情緒の安定を図りながら信頼関係の形成に努めます。
・聞く、見る、味わう、嗅ぐ、触れる等探索活動や保育を通して、興味や好奇心の芽生えを育みます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１歳児以上３歳未満：基本的な運動機能が発達し、身体的機能も整う。自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守りながら愛情豊かに応答的に関わる保育の実践</td></tr>
<tr><td>１歳児保育目標</td><td>・安心できる保育者のもとで、自分でしようとする気持ちを受け止めてもらいながら、意欲的に活動する。また、安心して自分の気持ちを表現できるような環境を提供します。
・戸外活動や散歩など、全身を十分に動かして遊び歩行の完成を図ります。
・生活や遊びの中で簡単な言葉のやり取りをし、会話の楽しさを味わいます。</td></tr>
<tr><td>２歳児保育目標</td><td>・自分でできた喜びを感じながら、生活に必要な簡単な身の回りのことを行い、自分でできた喜びを感じる心を養います。
・友達と共に過ごす心地よさを感じ、関わりの中でのびのびと自己表現できるような環境を提供します。
・いろいろな経験を通して言葉が豊かになり、自分の気持ちを言葉で表現したり、友達との言葉のやりとりを楽しみます。</td></tr>
</table>

令和３年度　年間行事予定一覧表

ナーサリーしらゆり

	４月		５月		６月		７月		８月		９月		１０月		１１月		１２月		１月		２月		３月		
1	木	新年度打合わせ	土		火	安全チェック	木	安全チェック	日		水	安全チェック	金	安全チェック	月	安全チェック	水	安全チェック	土	元日・年始休暇	火	安全チェック	火	安全チェック	1
2	金	職員健康診断	日		水	リーダー会議	金	絵本の日	月	安全チェック	木		土		火		木		日		水	誕生会 豆まき会	水	誕生会 ひな祭り会	2
3	土		月	憲法記念日	木	総合避難訓練	土		火		金		日		水	文化の日	金	絵本の日	月		木	リーダー会議	木	リーダー会議	3
4	日		火	みどりの日	金	絵本の日 内科検診	日		水	リーダー会議	土		月		木	絵本の日	土		火	保育始め集会 安全チェック	金	絵本の日	金	絵本の日 ケース会議	4
5	月	安全チェック	水	こどもの日	土		月		木		日		火	リーダー会議	金	リーダー会議	日		水		土		土		5
6	火	新年度会議	木	安全チェック	日		火	誕生会 七夕の集い	金	絵本の日	月	大掃除週間	水	総合避難訓練	土	避難訓練１	月		木	リーダー会議	日		日		6
7	水		金	絵本の日	月	個人面談週間	水	リーダー会議	土		火	リーダー会議	木		日		火	リーダー会議	金	絵本の日	月		月	大掃除週間	7
8	木		土		火		木		日	山の日	水		金	絵本の日	月		水	ケース会議	土		火	ケース会議	火	避難訓練 内部研修	8
9	金	絵本の日	日		水	誕生会	金		月	振替休日	木	絵本の日	土		火		木	内部研修	日		水	内部研修	水		9
10	土		月		木		土	夏まつり	火		金		日		水	誕生会 相談システム	金	お楽しみＤＡＹ	月	成人の日	木	お楽しみＤＡＹ	木		10
11	日		火	リーダー会議	金		日		水	誕生会 相談システム	土		月		木	内部研修	土		火		金	建国記念の日	金	年度末会議	11
12	月	内部研修	水	誕生会	土		月		木	避難訓練	日		火	ケース会議	金	お楽しみＤＡＹ	日		水	誕生会 相談システム	土		土		12
13	火		木	避難訓練 （２次避難）	日		火	ケース会議	金	お楽しみＤＡＹ	月		水	誕生会 相談システム	土	避難訓練２	月		木	避難訓練 ケース会議	日		日		13
14	水	相談システム	金	お楽しみＤＡＹ	月		水	相談システム	土		火	ケース会議	木	内部研修	日		火	相談システム	金	お楽しみＤＡＹ	月		月		14
15	木	避難訓練 リーダー会議	土		火	ケース会議	木	お楽しみＤＡＹ	日		水	誕生会 相談システム	金	お楽しみＤＡＹ	月		水	避難訓練	土		火		火	相談システム	15
16	金	お楽しみＤＡＹ	日		水	相談システム	金		月		木	避難訓練	土		火	ケース会議	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		水	相談システム	水	お別れ会	16
17	土		月		木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	土	避難訓練１	火	ケース会議	金	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		水		金	リズムの日	月		木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	17
18	日		火	ケース会議	金	お楽しみＤＡＹ	日		水		土		月		木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	土		火	内部研修	金	避難訓練	金	リズムの日	18
19	月	身体測定	水	相談システム	土		月	内部研修	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		火	歯科検診	金	リズムの日	日		水		土		土		19
20	火	ケース会議	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		火		金	リズムの日	月	敬老の日	水	不審者避難訓練	土		月	身体測定	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		日	春分の日	20
21	水		金	リズムの日	月	身体測定	水	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	土		火	身体測定 内部研修	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	日		火		金	リズムの日	月	身体測定	月	振替休日	21
22	木	食育給食会議 ヒヤリハット報告会	土		火	内部研修	木	海の日	日		水	お楽しみＤＡＹ	金	リズムの日	月		水	誕生会 クリスマス会	土		火	リズムの日	火	身体測定	22
23	金	リズムの日 職員会議	日		水	不審者避難訓練	金	スポーツの日	月	身体測定	木	秋分の日	土		火	勤労感謝の日	木	職員会議	日		水	天皇誕生日	水	職員会議	23
24	土		月	身体測定	木	職員会議	土	避難訓練２	火	内部研修	金	リズムの日	日		水	身体測定	金		月	身体測定	木		木		24
25	日		火	内部研修	金	リズムの日	日		水		土		月	身体測定	木	職員会議	土		火	ホームページ更新日	金	職員会議	金	お楽しみＤＡＹ	25
26	月		水	職員会議	土		月	身体測定	木	職員会議	日		火	職員会議	金		日		水	職員会議	土		土		26
27	火	誕生会 こどもの日の集い	木	ホームページ更新日	日		火	リズムの日	金	ホームページ更新日	月		水	内科検診	土	お遊戯会	月	ホームページ更新日	木		日		日		27
28	水	ホームページ更新日	金	歯科検診	月		水	職員会議	土	運動会	火	園外保育	木	ホームページ更新日	日		火	保育納め集会	金		月		月		28
29	木	昭和の日	土		火	ホームページ更新日	木	ホームページ更新日	日		水	職員会議	金		月	ホームページ更新日	水	年末休暇	土				火		29
30	金		日		水		金		月		木	ホームページ更新日	土		火		木		日				水	修了式	30
31			月				土		火				日				金	大晦日	月				木	終所日	31

風間浦村指定管理
風 間 浦 村 立　　風間浦保育所

●地域の方々との交流を大切にし、感謝の心を育みます。

保育方針

・いつも笑顔があり、明るく清潔な環境を作ります。

・子どもの個性を大切にし、一人ひとりの理解に努め暖かく見守ります。

・保育活動の充実を図るために、職員研修の場を進んで設けます。

・地域に愛される保育所を目指し、保護者・地域の方々との交流や、小・中学校との連携を積的に進めます。

・楽しく温かみのある、バランスのとれた給食を提供します。

令和３年度品質目標

年　度　目　標

《子ども達の笑顔がキラキラと輝く保育所を目指して！》

『健康な心と体』『自立心』『協同性』を育むを柱とした《新しい遊び》を、保育士が開発・提供し、PDCA サイクルを行いながら保育の質・保育士の質向上に努めます。

実　施　計　画

・『健康な心と体』『自立心』『協同性』を育むとは、どんな姿を描くのか職員皆で学び共有します。
・上記の 3 つの柱を描く為に、クラス(年齢)“に合った“新しい遊び”を開発し、実践していきます。
・毎月 1 回研修会議を実施し、実践した“新しい遊び”を各クラスごとに報告しあい、皆で評価・分析し、次への実践に繋げていきます。
・遊びを通し見えてきた一人ひとりの成長の様子を、保護者に随時報告しながら共通理解を深めていきます。

重 点 事 業	
1	**園児・保護者様の満足度向上を図ります。** ① “気づき”を大切にしながら、保育内容の充実を図ります。 ・子ども達が楽しめる遊び等を分析・開発し、年齢(クラス)にあった環境を提供し、健康な体、自主性・協同性を育む保育に努めます。 ・興味や関心を見落とさず保育活動に反映させながら、保育所が毎日楽しいと思えるように、日々考え実践していきます。 ② 保護者支援の充実を図り連携を強化していきます。 ・保育所内での様子、家庭内での様子を色々な場面で情報を交換し、保護者の思いに耳を傾け、信頼関係を築いていきます。 ・連絡帳や配布物(保育所だより・クラスだより・保健だより・給食だより)を欠かさず実施し感染症の状況報告や周知事項などを盛り込み、理解と協力をお願いしていきます。 ③ 教育的要素を含んだ活動･機会を提供します。 ・英語教室…主任や外部講師をお招きし、楽しみながら英語へ親しむ機会とします。 ・生け花・お茶会…外部講師をお招きし、おもてなしの心を育みます。 ・音楽教室…様々な楽器や音の取り入れた遊びを通して心の豊かさを育みます。 ・世界の絵本・童話鑑賞…“見る”“ “聞く”“ “触る”を通して感受性を育みます。 ・野菜の栽培・収穫…野菜の定植･手入れ･収穫･食べるを通して食への関心“食育”へ繋げます。
2	**地域との連携を継続します。** ① 風間浦村指定管理保育園として、行政･住民の皆様と手を取り合い、多様な保育ニーズに対応し、安定的な保育サービスを提供します。 ② 指定管理の委託業務として「特例保育」「障害児保育」「乳幼児保育」「地域子育て支援センター」を継続して行ないます。 ③ 近隣小中学校と行事や活動を通して交流を深めます。 ④ 地域のお祭りや交通安全運動・火災予防運動防火パレード等のイベントに参加し、地域の皆様と交流を深めます。
3	**職員の資質向上と知識･技術の習得を目指します。** ① 職員資質向上プログラムを作成し運用を進めます。 ② 法人内保育園での職員研修及び大規模保育を体験することで、保育の経験値を増やし様々な場面に活用できるよう自保育園での日々の保育へ役立てます。 ③ 安全(リスク管理)に関する研修会を実施します。 ④ 内部研修にて〈改訂された保育指針〉の見識を広め、実践につなげます。
4	**文書管理を徹底します。** ① 品質管理文書リストに基づいた各文書の管理と、必要に応じた見直しを行ないます。 ② 品質管理記録リストを作成し、文書記録の管理を適切に進めます。
5	**法令・規則等による要求事項を順守します。** ① 県指定の自主点検票による点検を行ないます。 ② 保育所サービス評価「自主評価」による点検を実施します。 ③ 福祉サービス第三者評価基準ガイドラインによるサービスの検証を行ないます。

保　育　目　標	
・子どもの幸せを重んじ、子ども一人ひとりを大切にし、その子らしさを基本に心身ともに健やかな子どもに育てます。 ・家庭・保護者・地域が子どもの成長のために、共に手を取り合い協力し合います。	
目標とする子どもの姿	
よく考える　「知」 **やさしい心　「徳」** **じょうぶな体　「体」** 一人ひとりが、現在を生きる事を大切にし、ご家庭と保育所がしっかり手をつなぎ合い、心身ともに豊かな芽生えを育めるよう安全で温かな土壌をつくり、子どもたちの生命を守ります。	
乳　児　保　育：	視覚、聴覚等の感覚や、運動機能の発達、情緒的な絆が形成されるため、愛情豊かで応答的に関わる保育を実践します。
0 歳児保育目標	・一人ひとりの生理的欲求が十分に満たされ、快適に過ごせるよう努めます。 ・音や土・水に触れ、全身で感触を楽しむ感性を育みます。
1 歳児以上 3 歳未満：	基本的な運動機能が発達し、身体的機能も整います。自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守りながら愛情豊かに応答的に関わる保育を実践します。
1 歳児保育目標	・自我の育ちを見守り、自分でしようとする気持ちを大切にします。 ・関わりの中で言葉を覚え、要求や気持ちを簡単な言葉で伝えられるようになります。
2 歳児保育目標	・生活に必要な基本的習慣や・態度が身につくよう保育します。 ・自然と触れ合う中で、好奇心や探求心を育みます。
3 歳児以上児：	基本的な生活習慣もほぼ自立します。個の成長と集団としての活動の充実が図られるような保育を実践します。
3 歳児保育目標	・感じたこと、思ったことなどを、自由に表現できるような環境を提供します。 ・全身を使った遊びを多くし、運動能力を高めます。
4 歳児保育目標	・体験活動を多くし、満足感・達成感を感じ意欲を持てるようにしていきます。 ・集団での活動の中で、楽しみや、仲間意識を深めます。
5 歳児保育目標	・自分で選択・自分で決定できる環境を多くし、自立心を育みます。 ・活動を通し、仲間とのつながりを深め、協力性を身につけます。

風 間 浦 保 育 所　　年間行事予定（令和3年度）

日	月	4	5		6		7		8		9	
1	木	入所式	土		火		木	保育参観日①-1	日		水	
2	金		日		水	身体測定	金	保育参観日①-2 三者協議会	月		木	身体測定
3	土		月	憲法記念日	木	誕生集会	土		火	どんぐりクラブ マスコット配布	金	外出活動（映画②）
4	日		火	みどりの日	金	運動会：買物	日		水	身体測定	土	
5	月		水	こどもの日	土		月	身体測定	木		日	
6	火	身体測定	木		日		火	確認会議（夏）	金	外出活動（収獲）	月	
7	水	小学校入学式 中学校入学式	金	お花見ツアー	月		水	誕生集会 七夕	土		火	臨時会議（発）
8	木		土		火	臨時会議（運・夏）	木	自然の家打ち合わせ	日	山の日	水	
9	金		日		水		金	マスコット作り	月	振替休日	木	
10	土		月		木		土		火		金	（村敬老会）
11	日		火	（ぎょう虫卵 尿検査：届）	金		日		水	誕生集会	土	
12	月		水	身体測定	土		月		木		日	
13	火	英語教室	木	誕生集会	日		火		金		月	
14	水	誕生集会	金	避難訓練	月		水		土	村成人式	火	
15	木	歯科検診①	土		火		木		日		水	
16	金	避難訓練	日		水		金	保育所だより①	月		木	避難訓練
17	土		月		木	総合練習 （景品包装）	土	第16回夏まつり	火	自然の家打ち合わせ	金	職員・給食会議
18	日		火		金	保育所だより①	日		水	職員・給食会議	土	
19	月		水	職員・給食会議	土	第16回運動会	月		木	保育所だより	日	
20	火	職員・給食会議	木	保育所だより	日		火	保育所便り②	金	生花会	月	敬老の日
21	水	保育所だより	金	（観閲式現地練習）	月	保育所便り②	水	職員・給食会議	土		火	十五夜 誕生集会
22	木		土	小・中合同体育祭	火	職員・給食会議	木	海の日	日	（いこくま荘夏祭り）	水	保育所だより
23	金	保育・研修会議	日	（村消防観閲式）	水	避難訓練	金	スポーツの日	月		木	秋分の日
24	土		月		木	大掃除①	土	（どんぶり祭り）	火	避難訓練（総合）	金	
25	日		火	英語教室	金	外出活動（金谷）	日		水		土	
26	月		水	保育・研修会議	土		月		木	保育・研修会議	日	
27	火	（内科検診①）	木		日		火	英語教室	金	5才児 自然と遊ぼう	月	
28	水	臨時会議（運）	金	外出活動（映画①）	月		水	保育・研修会議	土		火	英語教室
29	木	昭和の日	土		火	英語教室	木	避難訓練	日		水	保育・研修会議
30	金		日		水	保育・研修会議	金	外出活動（足湯）	月		木	
31			月				土		火	英語教室		

日	月	10	11		12		1		2		3	
1	金	秋の遠足	月		水		土	元旦	火		火	英語教室
2	土		火		木	身体測定	日		水	身体測定	水	身体測定
3	日		水	文化の日	金	（村社協デイ忘年会）	月		木	豆まき 誕生集会	木	ひなまつり 誕生集会
4	月		木	身体測定	土		火	保育始め 村消防出初式	金	風小一日入学	金	
5	火	（子ども向け観賞会）	金		日		水	身体測定	土		土	
6	水	身体測定	土		月		木		日		日	
7	木	歯科検診②	日		火		金		月		月	
8	金	誕生集会	月	就学児検診	水		土	保育参観日②	火		火	
9	土		火		木		日		水	（音楽教室②）	水	
10	日		水		金	もちつき会	月	成人の日	木		木	（お別れ会・星台村）
11	月		木	総合練習	土		火		金	建国記念日	金	
12	火		金		日		水		土		土	
13	水	（内科検診②）	土	第16回発表会	月		木		日		日	
14	木		日		火	英語教室	金	お正月大会 誕生集会	月		月	
15	金	（いこくま荘交流会）	月	保育所だより	水	自然の家打ち合わせ	土		火	新入児童説明会	火	風中卒業式
16	土	風中祭	火	英語教室	木	職員・給食会議	日		水		水	避難訓練
17	日		水	（音楽教室①）	金	保育所だより	月		木	避難訓練（総）	木	職員・給食会議
18	月	（防火パレード）	木	職員・給食会議	土		火		金	職員・給食会議	金	保育所だより
19	火	職員・給食会議	金	誕生集会 七五三	日		水	職員・給食会議	土		土	風小卒業式
20	水	保育所だより	土		月	避難訓練	木	保育所だより	日		日	
21	木	（風小学芸会予行見学）	日		火		金	避難訓練	月	保育所だより	月	春分の日
22	金	避難訓練	月	避難訓練	水	保育・研修会議	土		火	英語教室	火	
23	土	風小学芸会	火	勤労感謝の日	木		日		水	天皇誕生日	水	
24	日		水	外出活動（映画③）	金	クリスマス会 誕生集会	月		木		木	保育・研修会議
25	月		木		土		火	英語教室	金	保育・研修会議	金	
26	火	英語教室	金	（留学生交流会）	日		水	保育・研修会議	土		土	修了式
27	水	保育・研修会議	土		月	大掃除②	木		日		日	
28	木	お茶会	日		火	保育納め	金	親子そりすべり	月		月	
29	金	ハロウィン写真会	月	保育・研修会議	水		土				火	
30	土		火		木		日				水	クラス替え
31	日				金		月				木	令和3年度 保育終了